

昭和15年9月  
防空関係法令集  
国立国会図書館

328.398  
Si2986  
法令



0058234-000



328.398-Si2986

防空関係法令集

司法省

1940

AJH







昭和十五年九月

防空關係法令集

司  
法  
省



328,398  
Si.29.8a



寄贈  
無名氏  
殿

469734

目 録

防空法……………一

  防空法施行令……………一

  燈火管制規則……………二

  訓練防空警報規則……………二

  防毒資材取締規則……………三

  防空委員會令……………三

  官廳防空令……………三

  行政執行法……………三

  行政執行法施行令……………三

  防空通信規則……………四

  燈火管制規則施行ニ關スル件依命通牒……………四

  防毒資材取締規則施行ニ關スル件依命通牒……………四

  司法省防空實施計畫……………五

  司法省防空執務細則……………五

目 録



## ●防空法

(昭和十二年四月五日  
法律第四十七號)

**第一條** 本法ニ於テ防空ト稱スルハ戰時又ハ事變ニ際シ航空機ノ來襲ニ因リ生ズベキ危害ヲ防止シ又ハ之ニ因ル被害ヲ輕減スル爲陸海軍ノ行フ防衛ニ則應シテ陸海軍以外ノ者ノ行フ燈火管制、消防、防毒、避難及救護竝ニ此等ニ關シ必要ナル監視、通信及警報ヲ、防空計畫ト稱スルハ防空ノ實施及之ニ關シ必要ナル設備又ハ資材ノ整備ニ關スル計畫ヲ謂フ

**第二條** 防空計畫ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監ヲ含ム以下之ニ同ジ）又ハ地方長官ノ指定スル市町村長防空委員會ノ意見ヲ徵シ之ヲ設定シ主務大臣又ハ地方長官ノ認可ヲ受クベシ

**第三條** 主務大臣ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ規模大ナル事業又ハ施設ニシテ防空上特ニ必要アルモノニ付行政廳ニ非ザル者ヲ指定シテ防空計畫ヲ設定セシムルコトヲ得

2 前項ノ防空計畫ハ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

**第四條** 防空計畫ノ設定者ハ其ノ防空計畫ニ基キ防空ヲ實施シ又ハ防空ノ實施ニ關シ必要ナル設備若ハ資材ノ整備ヲ爲スベシ

**第五條** 地方長官ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ防空計畫ニ基キ特殊施設ノ管理者又ハ所有者ヲシテ防空ノ實施ニ關シ必要ナル設備若ハ資材ノ整備ヲ爲サシメ又ハ防空ノ實施ニ際シ必要ナル設備若ハ資材ヲ供用セシムルコトヲ得

**第六條** 地方長官ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ特殊技能ヲ有スル者ヲシテ防毒、救護其ノ他防空ノ實施ニ從事セシムルコトヲ得



2 第三條第一項ノ規定ニ依ル防空計畫ノ設定者ハ其ノ従業者ヲシテ防空ノ實施ニ従事セシムルコトヲ得

第七條 防空ノ實施ノ開始及終止ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八條 燈火管制ヲ實施スル場合ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ實施區域内ニ於ケル光ヲ發スル設備又ハ裝置ノ管理者又ハ之ニ準ズベキ者ハ他ノ法令ノ規定ニ拘ラズ其ノ光ヲ秘匿スベシ

第九條 防空ノ實施ニ際シ緊急ノ必要アルトキハ地方長官又ハ市町村長ハ他人ノ土地若ハ家屋ヲ一時使用シ、物件ヲ收用若ハ使用シ又ハ防空ノ實施區域内ニ在ル者ヲシテ防空ノ實施ニ従事セシムルコトヲ得

2 行政執行法第五條及第六條ノ規定並ニ之ニ基キテ發スル命令ハ前項ノ規定ニ基キテ爲ス處分ニ依リテ負フ義務ノ履行ヲ市町村長ガ強制スル場合ニ之ヲ準用ス

第十條 主務大臣ハ防空計畫ノ設定者ニ對シ防空計畫ノ全部又ハ一部ニ基キ防空ノ訓練ヲ爲スベキコトヲ命ズルコトヲ得

2 前項ノ規定ニ依リ防空ノ訓練ヲ爲ス場合ニ於テハ第三條第一項ノ規定ニ依ル防空計畫ノ設定者ハ其ノ従業者ヲシテ防空ノ訓練ニ従事セシムルコトヲ得

3 第一項ノ規定ニ依リ燈火管制ノ訓練ヲ爲ス場合ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ訓練區域内ニ於ケル光ヲ發スル設備又ハ裝置ノ管理者又ハ之ニ準ズベキ者ハ他ノ法令ノ規定ニ拘ラズ其ノ光ヲ秘匿スベシ

第十一條 防空ニ關スル調査ノ爲必要アルトキハ主務大臣、地方長官又ハ市町村長ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ關係者ニ對シ資料ノ提出ヲ命ジ又ハ官吏若ハ吏員ヲシテ關係アル場所ニ立入り検査ヲ爲サシムルコトヲ得但シ私人ノ邸宅並ニ業務上ノ秘密ニ屬スル事項及設備ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

2 前項ノ規定ニ依リ立入ル場合ニ於テハ其ノ旨豫メ其ノ場所ノ管理者ニ通知スベシ

3 當該官吏又ハ吏員第一項ノ規定ニ依リ關係アル場所ニ立入ル場合ハ其ノ證票ヲ携帯スベシ

第十二條 第六條又ハ第九條第一項ノ規定ニ依リ防空ノ實施ニ従事スル者之ガ爲傷痕ヲ受ケ、疾病ニ罹リ又ハ死亡シタル場合ニ於テハ地方長官、市町村長又ハ第三條第一項ノ規定ニ依ル防空計畫ノ設定者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ本人又ハ其ノ葬祭ヲ行フ者ニ對シ療養又ハ葬祭ニ要スル費用ヲ給スベシ

第十三條 地方長官第五條ノ規定ニ依リ防空ノ實施ニ際シ必要ナル設備若ハ資材ヲ供用セシメ又ハ地方長官若ハ市町村長第九條第一項ノ規定ニ依リ土地家屋物件ヲ收用若ハ使用スル場合ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ損失ヲ補償スベシ

2 前項ノ規定ニ依リ補償ヲ受クベキ者補償ニ付不服アルトキハ其ノ金額ノ決定ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ、供用、收用又ハ使用ノ後六月ヲ經過シテ補償金額ノ決定ノ通知ヲ受ケザルトキハ其ノ期間經過シタル日ヨリ六月以内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第十四條 地方長官第六條第一項ノ規定ニ依リ特殊技能ヲ有スル者ヲシテ防空ノ實施ニ従事セシメ又ハ第三條第一項ノ規定ニ依ル防空計畫ノ設定者第六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ従業者ヲシテ防空ノ實施ニ従事セシムル場合ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ實費ヲ辨償スベシ

2 前條第二項ノ規定ハ前項ノ實費辨償ニ之ヲ準用ス

第十五條 防空計畫ノ設定、防空ノ實施、防空ノ實施ニ關シ必要ナル設備若ハ資材ノ整備、第十條第一項ノ規定ニ依ル防空ノ訓練又ハ第十二條ノ規定ニ依ル給與ヲ爲スニ要スル費用ハ地方長官之ヲ爲ス場合ニ於テハ北海道又ハ府縣、市町村長之ヲ爲ス場合ニ於テハ市町村、第三條第一項ノ規定ニ依ル防空計畫ノ設定者之ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ者ノ負擔トス



2 特殊施設ノ管理者又ハ所有者第五條ノ規定ニ依リ設備又ハ資材ノ整備ヲ爲スニ要スル費用ハ其ノ者ノ負擔トス

第十六條 防空委員會ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム  
第十七條 國庫ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ左ノ諸費ニ對シ其ノ二分ノ一以內ヲ補助ス  
一 第十五條第一項ノ規定ニ依リ北海道、府縣、市町村又ハ第三條第一項ノ規定ニ依ル防空計畫ノ設定者ノ負擔スル費用

二 第十五條第二項ノ規定ニ依リ特殊施設ノ管理者又ハ所有者ノ負擔スル費用  
三 防空委員會ニ關シ北海道、府縣又ハ市町村ノ負擔スル費用

第十八條 特殊技能ヲ有スル者故ナク第六條第一項ノ規定ニ依ル地方長官ノ命令ニ從ハザルトキハ三月以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十九條 第八條ノ規定ニ違反シタル者ハ三百圓以下ノ罰金、拘留又ハ科料ニ處ス  
2 故ナク第十一條第一項ノ規定ニ依ル資料ノ提出ヲ拒ミ若ハ虚偽ノ資料ヲ提出シ又ハ當該官吏若ハ吏員ノ立入検査ヲ拒ミ若ハ妨ゲタル者亦前項ニ同ジ

第二十條 町村組合ニシテ町村ノ事務ノ全部又ハ役場事務ヲ共同處理スルモノハ本法ノ適用ニ付テハ之ヲ一町村、其ノ組合管理者ハ之ヲ町村長ト看做ス  
2 町村制ヲ施行セザル地ニ於テハ本法中町村ニ關スル規定ハ町村ニ準ズベキモノニ、町村長ニ關スル規定ハ町村長ニ準ズベキ者ニ之ヲ適用ス

第二十一條 國ニ於テ管理スル施設ニ關スル防空ニ付テハ勅令ノ定ムル所ニ依ル

第二十二條 本法ヲ朝鮮、臺灣又ハ樺太ニ施行スル場合ニ於テ必要アルトキハ勅令ヲ以テ特別ノ定ヲ爲スコトヲ得

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム (昭和十二年九月勅令第五百四十八號ヲ以テ同年十月一日ヨリ施行)



●防空法施行令

(昭和十二年九月二十九日 勅令第五百四十九號)

第一條 地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監ヲ含ム以下之ニ同ジ)ハ道府縣ノ全區域又ハ數市町村ノ區域ニ互リ計畫スベキ事項其ノ他必要ト認ムル事項ニ關シ防空計畫ヲ設定スベシ

2 前項ノ防空計畫ハ道府縣防空委員會ノ意見ヲ徵シ之ヲ設定シ内務大臣ノ認可ヲ受クベシ  
3 防空法第二條ノ規定ニ依リ指定セラレタル市町村長ハ市町村ノ區域内ニ於テ計畫スベキ事項其ノ他必要ト認ムル事項ニ關シ防空計畫ヲ設定スベシ

4 前項ノ防空計畫ハ市町村防空委員會ノ意見ヲ徵シ之ヲ設定シ地方長官ノ認可ヲ受クベシ  
第二條 防空法第三條第一項ノ事業又ハ施設ハ工場、鑛山、鐵道、軌道、無線電信、無線電話又ハ電氣、瓦斯、海運若ハ航空ニ關スル事業若ハ施設トス

第三條 防空法第五條ノ規定ニ依リ整備ヲ爲サシムルコトヲ得ベキ設備又ハ資材ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス  
一 電氣工作物、工場、鑛山、鐵道、軌道、診療所ノ類ニ付テハ燈火管制ニ關シ必要ナルモノ  
二 水道、下水道、瓦斯工作物、石油タンク、工場、鑛山ノ類ニ付テハ消防ニ關シ必要ナルモノ  
三 劇場、診療所、百貨店、地下ニ敷設シタル鐵道又ハ軌道、地下室ヲ有スル建築物ノ類ニ付テハ防毒、避難又ハ救護ニ關シ必要ナルモノ

2 防空法第五條ノ規定ニ依リ供用セシムルコトヲ得ベキ設備又ハ資材ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス  
一 高層建築物ノ類ニ付テハ監視ニ關シ必要ナルモノ

二 號報器ヲ有スル施設ニ付テハ警報ニ關シ必要ナルモノ

三 學校、集會場、劇場、診療所、百貨店、地下ニ敷設シタル鐵道又ハ軌道、地下室ヲ有スル建築物、避難上有效ナル空地ヲ有スル工場其ノ他ノ建築物、運動場ノ類ニ付テハ防毒、避難又ハ救護ニ關シ必要ナルモノ

第四條 防空法第六條第一項ノ特殊技能ヲ有スル者ハ左ノ各號ニ掲グル者トス

一 醫師、齒科醫師、獸醫師、藥劑師及看護婦

二 防空ニ關スル技能ニ付特殊ノ教育訓練ヲ受ケタル者ニシテ内務大臣ノ認可ヲ受ケ地方長官ノ定ムルモノ

2 防空法第三條第一項ノ規定ニ依リ防空計畫ノ設定者ノ從業者ニシテ其ノ防空計畫ニ基キ防空ノ實施ニ從事スベキモノ其ノ他正當ノ事由アル者ハ同法第六條第一項ノ規定ニ依リ防空ノ實施ニ從事セシムルコトヲ得ズ

第五條 防空ノ實施ノ開始及終止ハ内務大臣之ヲ命ズ

2 前項ノ命令ハ關係アル地方長官及防空法第三條第一項ノ防空計畫ノ設定者ニ對シテハ内務大臣、關係アル市町村長ニ對シテハ内務大臣ノ通知ニ依リ地方長官之ヲ發ス

3 内務大臣第一項ノ命令ヲ爲スニ付テハ其ノ時期及區域ニ關シテハ陸軍大臣又ハ海軍大臣ノ通知ニ依ルベシ

第六條 前條ノ規定ニ依リ防空ノ實施ノ開始命令アリタルトキハ防空計畫ノ設定者ハ監視及之ニ伴フ通信ニ關シテハ直ニ之ヲ實施シ防空上必要ナル其ノ他ノ事項ニ關シテハ其ノ準備ヲ爲シ適宜之ヲ實施スベシ

2 監視及之ニ伴フ通信ハ前條ノ規定ニ依リ防空ノ實施ノ終止命令アル迄之ヲ繼續スベシ

第七條 防空ヲ實施スル場合ニ於テ航空機ノ來襲ニ關シテハ左ノ各號ノ區分ニ依リ防空警報ヲ發ス

- 一 警戒警報 航空機ノ來襲ノ虞アル場合
- 二 警戒警報解除 航空機ノ來襲ノ虞ナキニ至リタル場合



三 空襲警報

航空機ノ來襲ノ危険アル場合

四 空襲警報解除

航空機ノ來襲ノ危険ナキニ至リタル場合

2 當該區域ノ防衛ヲ擔任スル防衛司令官、師團長、要塞司令官、鎮守府司令長官若ハ要港部司令官（以下陸海軍司令官ト稱ス）又ハ其ノ指定スル者ノ發スル防空警報ヲ以テ前項ノ防空警報トス

第八條 防空法第十一條第一項ノ關係者ハ第二條ニ掲グル事業若ハ施設又ハ第三條ニ掲グル特殊施設ノ管理者又ハ所有者トシ關係アル場所ハ此等ノ者ノ管理又ハ所有スル土地及建物其ノ他ノ工作物トス

2 防空法第十一條第三項ノ證票ハ別記様式ニ依ル

第九條 防空法第十二條ノ規定ニ依ル療養又ハ葬祭ニ要スル費用ハ防空ノ實施ニ從事セシメタル者ニ於テ之ヲ給スベシ

2 前項ノ費用ノ支給ニ關シ必要ナル事項ハ地方長官又ハ防空法第三條第一項ノ規定ニ依ル防空計畫ノ設定者ニ在リテハ内務大臣、市町村長ニ在リテハ地方長官ノ認可ヲ受ケ之ヲ定ムベシ

第十條 防空法第十三條ノ規定ニ依リ補償スベキ損失ハ通常生ズベキ損失ニ限ル

第十一條 防空法第十四條ノ規定ニ依ル實費辨償ニ關シ必要ナル事項ハ地方長官又ハ同法第三條第一項ノ規定ニ依ル防空計畫ノ設定者内務大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ定ム

第十二條 防空法第十七條ノ規定ニ依ル國庫補助ハ支出精算額ニ對シ之ヲ爲ス但シ寄附金其ノ他ノ收入アルトキハ之ヲ控除シタル額ニ對シ補助ス

2 前項ノ規定ニ依リ交付シタル國庫補助金ハ左ニ掲グル場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ返還セシムルコトヲ得  
一 設備又ハ資材ヲ廢棄又ハ變更シ當初ノ目的ヲ達シ得ザルニ至リタルトキ

二 補助金交付ノ條件ニ違反シタルトキ

第十三條 防空法第三條及第十條ノ主務大臣ハ内務大臣、同法第十一條ノ主務大臣ハ内務大臣、陸軍大臣又ハ海軍大臣トス

第十四條 陸海軍司令官ハ監視網構成ノ概要ニ付及陸海軍ノ行フ防衛ノ必要上使用ヲ禁止又ハ制限スルコトアルベキ土地建物ニ付防空計畫ノ設定上必要ナル事項ヲ防空計畫ノ設定者ニ通知スベシ  
2 前項ノ通知アリタルトキハ之ニ準據シテ防空計畫ヲ設定スベシ

第十五條 防空計畫ノ認可ヲ爲ス場合ニ於テ陸海軍ノ行フ防衛ニ則應セシムル爲必要アル事項ニ關シテハ内務大臣ハ陸軍大臣及海軍大臣ニ、地方長官ハ陸海軍司令官ニ協議スベシ

第十六條 左ニ掲グル事項ニ關シテハ内務大臣ハ關係各大臣ニ、地方長官ハ關係地方官廳ニ協議スベシ  
一 防空計畫ノ認可ヲ爲ス場合ニ於テ當該計畫中國ニ於テ管理スル土地家屋物件ノ使用ニ關スル事項  
二 防空計畫ノ認可ヲ爲ス場合ニ於テ設備又ハ資材ノ整備又ハ供用ニシテ他ノ法令ニ依リ認可又ハ許可ヲ要スルモノニ關スル事項

三 防空法第三條第一項ノ規定ニ依ル指定及同條第二項ノ規定ニ依ル認可  
四 設備又ハ資材ノ整備又ハ供用ニシテ他ノ法令ニ依リ認可又ハ許可ヲ要スルモノニ關スル防空法第五條ノ規定ニ依ル命令

五 防空法第三條第一項ノ規定ニ依ル防空計畫ノ設定者ニ對スル同法第十條第一項ノ規定ニ依ル命令

第十七條 町村組合ニシテ町村ノ事務ノ全部又ハ役場事務ヲ共同處理スルモノハ本令ノ適用ニ付テハ之ヲ一町村、其ノ組合管理者ハ之ヲ町村長ト看做ス



防空法施行令

2 町村制ヲ施行セザル地ニ於テハ本令中町村ニ關スル規定ハ町村ニ準ズベキモノニ、町村長ニ關スル規定ハ町村長ニ準ズベキ者ニ之ヲ適用ス

附 則

本令ハ防空法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(別記様式) 略

◎燈火管制規則

(昭和十三年四月四日)  
(内務、陸軍、海軍、逓信、鐵道省令第一號)

第一條 燈火管制ヲ實施シ又ハ其ノ訓練ヲ爲ス場合ニ於テ防空法第八條及第十條第三項ノ規定ニ依ル光ノ秘匿ハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 燈火管制ハ第四條ニ規定スル場合ヲ除クノ外警戒管制及空襲管制トス

2 警戒管制ハ警戒警報又ハ空襲警報解除ノ發セラレタル時ヨリ警戒警報解除又ハ空襲警報ノ發セラルル迄ノ間之ヲ行フ

3 空襲管制ハ空襲警報ノ發セラレタル時ヨリ空襲警報解除ノ發セラルル迄ノ間之ヲ行フ

4 燈火管制ノ訓練ヲ爲ス場合ニ於ケル前二項ノ防空警報ハ訓練防空警報トス

第三條 警戒管制又ハ空襲管制中ノ光ノ秘匿ハ日没ヨリ日出迄ノ間第一號表乃至第七號表ニ掲グル程度ニ於テ之ヲ爲スベシ

第四條 第一號表ノ屋外燈(標識燈類、街路燈類及屋外作業燈類ヲ除ク)ニシテ地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監以下之ニ同ジ)ノ指定スルモノハ其ノ定ムル期間日没ヨリ日出迄ノ間警戒管制ノ程度ニ依リ其ノ光ヲ秘匿スベシ

2 地方長官前項ノ規定ニ依リ屋外燈ヲ指定シ又ハ其ノ光ヲ秘匿スベキ期間ヲ定メタルトキハ之ヲ告示スベシ

第五條 左ノ各號ニ掲グル光ニ付テハ本令ノ制限ヲ適用セズ

- 一 建築物、車輛、船舶、隧道、地下道等ノ内部ノ光ニシテ外部ニ漏レザルモノ
- 二 特別ノ事情ニ因リ必要アリト認め地方長官ノ指定スル光



第六條

左ニ掲グル場合ニ於テハ本令ノ規定ニ拘ラズ必要最少限度ノ光ヲ使用スルコトヲ得

一 消防、人命救助等ノ爲緊急ノ必要アルトキ

二 特別ノ必要ニ因リ警察署長ノ許可ヲ受ケタルトキ

第七條

第一號表乃至第七號表中警戒管制ノ甲ノ程度ヲ適用スベキ區域ハ防空法施行令第七條ノ陸海軍司令官（以下

陸海軍司令官ト稱ス）ノ通知ニ依リ地方長官之ヲ定メ其ノ他ノ區域ハ乙ノ程度ヲ適用スベキ區域トス

2 前項ノ規定ニ依リ難キ海上ノ區域ニ付テハ別ニ之ヲ定ム

第八條

第一號表、第二號表、第四號表又ハ第五號表中ノ許可又ハ指定ハ地方長官之ヲ爲スモノトス

第九條

第一號表、第二號表、第四號表、第五號表及第七號表中隱蔽ト稱スルハ開口部其ノ他ニ覆ヲ施シ外部ニ對シ

漏光ナカラシムルヲ謂フ

第十條

左ニ掲グル事項ニ關シテハ地方長官又ハ警察署長ハ陸海軍司令官ニ協議スベシ但シ豫メ陸海軍司令官ト協定

シタル事項ニ關シテハ此ノ限ニ在ラズ

第一號表

一般屋外燈ノ光ノ秘匿ノ程度

第二號表

一般屋外燈ノ光ノ秘匿ノ程度

第三號表

一般屋外燈ノ光ノ秘匿ノ程度

第四號表

一般屋外燈ノ光ノ秘匿ノ程度

第五號表

一般屋外燈ノ光ノ秘匿ノ程度

第六號表

一般屋外燈ノ光ノ秘匿ノ程度

第七號表

一般屋外燈ノ光ノ秘匿ノ程度

第八號表

一般屋外燈ノ光ノ秘匿ノ程度

第九號表

一般屋外燈ノ光ノ秘匿ノ程度

第十號表

一般屋外燈ノ光ノ秘匿ノ程度

第十一號表

一般屋外燈ノ光ノ秘匿ノ程度

第十二號表

一般屋外燈ノ光ノ秘匿ノ程度

第十三號表

一般屋外燈ノ光ノ秘匿ノ程度

第十四號表

一般屋外燈ノ光ノ秘匿ノ程度

第十五號表

一般屋外燈ノ光ノ秘匿ノ程度

第十六號表

一般屋外燈ノ光ノ秘匿ノ程度

第十七號表

一般屋外燈ノ光ノ秘匿ノ程度

第十八號表

一般屋外燈ノ光ノ秘匿ノ程度

第十九號表

一般屋外燈ノ光ノ秘匿ノ程度

第二十號表

一般屋外燈ノ光ノ秘匿ノ程度

第二十一號表

一般屋外燈ノ光ノ秘匿ノ程度

第二十二號表

一般屋外燈ノ光ノ秘匿ノ程度

第二十三號表

一般屋外燈ノ光ノ秘匿ノ程度

第二十四號表

一般屋外燈ノ光ノ秘匿ノ程度

第二十五號表

一般屋外燈ノ光ノ秘匿ノ程度

第二十六號表

一般屋外燈ノ光ノ秘匿ノ程度

第二十七號表

一般屋外燈ノ光ノ秘匿ノ程度

第二十八號表

一般屋外燈ノ光ノ秘匿ノ程度

第二十九號表

一般屋外燈ノ光ノ秘匿ノ程度

第三十號表

一般屋外燈ノ光ノ秘匿ノ程度

第三十一號表

一般屋外燈ノ光ノ秘匿ノ程度

第三十二號表

一般屋外燈ノ光ノ秘匿ノ程度

第三十三號表

一般屋外燈ノ光ノ秘匿ノ程度

第三十四號表

一般屋外燈ノ光ノ秘匿ノ程度

第三十五號表

一般屋外燈ノ光ノ秘匿ノ程度

燈火管制規則

種	類	警 戒 管 制		空 襲 管 制	遮 光 條 件
		乙	甲		
廣告看板 其ノ他之ニ類スル燈火	消燈	消燈	消燈	消燈	
火災報知機 非常報知機 避難所標識 救護所標識 消防署標識 其ノ他之ニ類スル燈火	減光 透視距離五〇〇米 以下トスルコト	減光且遮光 透視距離五〇〇米以下ト スルコト	減光且遮光 透視距離五〇〇米以下ト ト	減光且遮光 透視距離五〇〇 米以下トスルコ ト	地表上三〇〇米以上 何レノ點ヨリモ光 ノ其ノ反射光等 一切ノ光ヲ認メ得 ザルコト
標識燈類 （例） 消防署標識燈 避難所標識燈 救護所標識燈 其ノ他之ニ類スル燈火	減光 透視距離五〇〇米 以下トスルコト	減光且遮光 透視距離五〇〇米以下ト スルコト	減光且遮光 透視距離五〇〇米以下ト ト	減光且遮光 透視距離五〇〇 米以下トスルコ ト	
街路燈 （例） 街路照明ヲ兼スル （例） 街路照明ヲ兼スル	減光且遮光 透視距離一〇〇平方 米以下トスルコト	消燈 但シ迅速ニ消燈シ得ル處 置ヲ講ジタルモノハ許可	消燈 但シ迅速ニ消燈シ得ル處 置ヲ講ジタルモノハ許可	消燈 但シ迅速ニ消燈シ得ル處 置ヲ講ジタルモノハ許可	

三 第五條第二號ノ規定ニ依リ光ヲ指定セントスルトキ

四 空襲管制ノ場合ニ於テ第六條第二號ノ規定ニ依リ許可ヲ爲サントスルトキ

附 則

本令ハ昭和十三年四月十日ヨリ之ヲ施行ス

第六條 左ニ掲グル場合ニ於テハ本令ノ規定ニ拘ラズ必要最少限度ノ光ヲ使用スルコトヲ得

一 消防、人命救助等ノ爲緊急ノ必要アルトキ

二 特別ノ必要ニ因リ警察署長ノ許可ヲ受ケタルトキ

第七條 第一號表乃至第七號表中警戒管制ノ甲ノ程度ヲ適用スベキ區域ハ防空法施行令第七條ノ陸海軍司令官（以下陸海軍司令官ト稱ス）ノ通知ニ依リ地方長官之ヲ定メ其ノ他ノ區域ハ乙ノ程度ヲ適用スベキ區域トス

2 前項ノ規定ニ依リ難キ海上ノ區域ニ付テハ別ニ之ヲ定ム

第八條 第一號表、第二號表、第四號表又ハ第五號表中ノ許可又ハ指定ハ地方長官之ヲ爲スモノトス

第九條 第一號表、第二號表、第四號表、第五號表及第七號表中隱蔽ト稱スルハ開口部其ノ他ニ覆ヲ施シ外部ニ對シ漏光ナカラシムルヲ謂フ

第十條 左ニ掲グル事項ニ關シテハ地方長官又ハ警察署長ハ陸海軍司令官ニ協議スベシ但シ豫メ陸海軍司令官ト協定シタル事項ニ關シテハ此ノ限ニ在ラズ

一 第一號表、第二號表、第四號表又ハ第五號表ニ依リ許可又ハ指定ヲ爲サントスルトキ

二 第四條第一項ノ規定ニ依リ屋外燈ヲ指定シ又ハ其ノ光ヲ秘匿スベキ期間ヲ定メントスルトキ

3 第四號表及第五號表中確認距離ト稱スルハ燈火ノ目的ニ應ジ實用ニ適スル程度ニ認識シ得ル最大限度ノ距離ヲ謂フ

4 第一號表、第三號表、第四號表、第五號表及第七號表中透視距離ト稱スルハ光源及其ノ反射光等一切ノ光ヲ認識シ得ル最大限度ノ距離ヲ謂フ







「ルーメン」以下ト  
スルコト

第三號表 一般交通關係燈ノ光ノ秘匿ノ程度

種	類	警戒管制		空襲管制	遮光條件
		乙	甲		
交通信號燈	交通整理信號燈 其ノ他之ニ類スル燈火	平常ノ儘	減光且遮光 透視距離五〇〇米以下ト	減消光燈 透視距離五〇〇米以下ト	地表上三〇〇米以上 ノ何レノ點ヨリモ光 ノハ其ノ反射光等 ノ切ハ光ノ認メ得ザ ルコト
交通標識燈	安全地帯標識燈 停留所標識燈 其ノ他之ニ類スル燈火	減光 透視距離五〇〇米以下ト	減光且遮光 透視距離五〇〇米以下ト	消燈 但シ透視距離ニ注意 スルコト	甲 光ノ場ヨリ直接發 ル光ハ場ヨリ及的發 スル光ニ合ハザルコト 乙 光ノ場ヨリ直接發 スル光ハ場ヨリ及的發 スル光ニ合ハザルコト
前照燈 案內燈ヲ含ム	減光 各燈二燈以下トシ 各燈ノ距離ニ於テ 光軸ノ垂直ナル面 ニ於ケル最大照度 ヲ三ルクス以下ト スルコト	減光且遮光 透視距離三〇〇米以下ト	減光且遮光 透視距離三〇〇米以下ト	消燈	自動車の水平ノ上 ガ五度以上ノ上射 器ガ五度以上ノ上 ガ五度以上ノ上射 空器ガ五度以上ノ上

第四號表 鐵道軌道關係燈ノ光ノ秘匿ノ程度

種	類	警戒管制		空襲管制	遮光條件
		乙	甲		
自動車燈類	尾燈 停止燈 方向指示器燈 方向幕照燈 空車札照燈 室內燈 其ノ他ノ燈火	平常ノ儘	減光 透視距離三〇〇米以下ト	消燈	光源ヨリ直接發スル 光ガ開口部ニ向ハ ザルコト
普通車輛燈類	手車燈 人力車燈 荷馬車燈 乘合馬車燈 其ノ他之ニ類スル燈火	平常ノ儘	減光且遮光 透視距離三〇〇米以下ト	消燈	光源ガ開口部ニ向 リ米以上ノ點ヨ リモ認メ得ザルコト
携帶燈類	個人携帶燈 其ノ他之ニ類スル燈火	平常ノ儘	減光且遮光 透視距離三〇〇米以下ト	消燈	光源ガ開口部ニ向 リ米以上ノ點ヨ リモ認メ得ザルコト
場內信號機 閉塞信號機 閉塞信號機 閉塞信號機 其ノ他之ニ類スル燈火	場內信號機 閉塞信號機 閉塞信號機 閉塞信號機 其ノ他之ニ類スル燈火	減光且遮光 透視距離六〇〇米以下ト	減消光燈 透視距離六〇〇米以下ト	消燈	遮光條件







燈火管制規則

則燈火管制規則

<p>電氣機關車、電車、無軌電車、鋼索車等ノ火花防止ニ努ムルコト</p>	<p>點檢燈類 其ノ他之ニ類スル燈火ノ合圖使用スル場合ヲ日 巡檢燈 平常ノ儘</p>	<p>列車振構内照明燈 其ノ他之ニ類スル燈火 入換作業用構内照明燈 其ノ他之ニ類スル燈火 名種諸所屋外燈 電車庫屋外燈 其ノ他之ニ類スル燈火 減光且遮光 一米五〇燭光以下 一米五〇燭光以下</p>	<p>特殊照明燈 乘降場屋外燈 洗滌臺屋外燈 給炭水屋外燈 其ノ他之ニ類スル燈火 屋內各種表示燈 誘導燈 屋外各種表示燈 誘導燈 出札口屋外燈 改札口屋外燈 出札口屋外燈 改札口屋外燈 踏切表示燈 踏切注意標照明燈 踏切燈類</p>	<p>踏切燈類 踏切表示燈 踏切注意標照明燈 踏切燈類 減光且遮光 一米五〇燭光以下 踏切注意標照明燈 減光且遮光 一米五〇燭光以下 踏切燈類 減光且遮光 一米五〇燭光以下</p>
<p>極力防止ニ努ムルコト</p>	<p>減光且遮光 一米五〇燭光以下 減光且遮光 一米五〇燭光以下</p>	<p>減光且遮光 一米五〇燭光以下 減光且遮光 一米五〇燭光以下</p>	<p>減光且遮光 一米五〇燭光以下 減光且遮光 一米五〇燭光以下</p>	<p>減光且遮光 一米五〇燭光以下 減光且遮光 一米五〇燭光以下</p>
<p>極力防止ニ努ムルコト</p>	<p>減光且遮光 一米五〇燭光以下 減光且遮光 一米五〇燭光以下</p>	<p>減光且遮光 一米五〇燭光以下 減光且遮光 一米五〇燭光以下</p>	<p>減光且遮光 一米五〇燭光以下 減光且遮光 一米五〇燭光以下</p>	<p>減光且遮光 一米五〇燭光以下 減光且遮光 一米五〇燭光以下</p>
<p>極力防止ニ努ムルコト</p>	<p>減光且遮光 一米五〇燭光以下 減光且遮光 一米五〇燭光以下</p>	<p>減光且遮光 一米五〇燭光以下 減光且遮光 一米五〇燭光以下</p>	<p>減光且遮光 一米五〇燭光以下 減光且遮光 一米五〇燭光以下</p>	<p>減光且遮光 一米五〇燭光以下 減光且遮光 一米五〇燭光以下</p>











第二種禁制 光類	第一種禁制 光類	火焰類
寫眞撮影用閃光 炭火、マツチ、ライター、 煙草等ヨリ發スル光	煙火、爆竹、野火、篝火、 狼火、一ボタ、山ヨリ發ス ル光 警報ニ使用スルモ ノヲ除ク	瓦斯製炭製造爐火焰 窯業製炭爐火焰 硝子製炭爐火焰 亞鉛製炭爐火焰 炭接火爐火焰 熔接火爐火焰 鍛冶火爐火焰 汽竈及火口延火焰 汽竈及火口延火焰 其ノ他之類スル火焰 煙火、爆竹、野火、篝火、 狼火、一ボタ、山ヨリ發ス ル光
平常ノ儘	消光	消光 漏光制限 以付光束ヲ透過スルコト トール一平方メートル 以下ニ減光スルコト
平常ノ儘 ト○米以下ニ減光スルコト	消光	消光 漏光制限 以付光部ノ透視距離三〇〇米 ト下トスルコト
消光	消光	消光

●訓練防空警報規則 (昭和十三年四月五日  
内務省令第十二號)

防空法第十條第一項ノ規定ニ依ル防空ノ訓練ヲ爲ス場合ニ於テ發スル訓練防空警報ハ防空警報ノ區分ニ準ジ訓練警戒  
警報、訓練警戒警報解除、訓練空襲警報及訓練空襲警報解除トス  
訓練防空警報ヲ發スベキ者ハ防空訓練ノ都度内務大臣之ヲ指定ス  
前項ノ指定ナキ場合ニ於テハ防空法施行令第七條ノ陸海軍司令官又ハ其ノ指定スル者ノ發スル訓練防空警報ヲ以テ第  
一項ノ訓練防空警報トス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス



● 防毒資材取締規則

(昭和十三年五月二日  
內務、厚生省令第一號)

第一條 本令ニ於テ防毒具ト稱スルハ毒性ノ瓦斯、煙霧、液體、粉塵等ニ對スル防護具ヲ謂フ  
2 防毒具ハ左ノ二種トス

第一種 防毒面(酸素呼吸器ヲ含ム以下之ニ同ジ)、防毒衣、防毒手袋、防毒靴、防毒濾函竝ニ防毒面用ノ覆面、呼吸瓣及吸收罐

第二種 其ノ他ノ防毒具

3 本令ニ於テ防毒檢定器ト稱スルハ毒性ノ瓦斯、煙霧、液體、粉塵等ヲ檢知スル器具及防毒具ノ性能ヲ檢査スル器具ヲ謂フ

4 本令ニ於テ防毒藥物ト稱スルハ防毒面吸收罐又ハ防毒濾函ニ使用シ防毒ノ效能アリトスル藥物、毒性ノ瓦斯、煙霧、液體、粉塵等ノ檢知ノ效能アリトスル藥物及防毒ノ效能アリトスルモノニシテ內務大臣及厚生大臣ノ指定スル藥物ヲ謂フ

5 本令ニ於テ防毒具材料ト稱スルハ防毒具ノ製造又ハ修復ニ使用スル物ニシテ內務大臣ノ指定スルモノヲ謂フ

第二條 本令ハ販賣ノ用ニ供スル防毒具、防毒檢定器、防毒藥物及防毒具材料ニ付之ヲ適用ス但シ第十一條及第十二條ノ規定ハ販賣ノ用ニ供セザルモノニ付テモ之ヲ適用ス

第三條 第一種防毒具又ハ防毒檢定器ヲ製造セントスル者ハ左ノ各號ニ掲グル事項ヲ、輸入又ハ移入セントスル者ハ第一號乃至第三號及第六號ニ掲グル事項ヲ具シ見本品ヲ添ヘ主タル業務所所在地ノ地方長官(東京府ニ在リテハ警

視總監以下之ニ同ジ)ヲ經由シ內務大臣ノ許可ヲ受クベシ

一 氏名(法人ニ在リテハ其ノ名稱)、商號及業務所所在地

二 製造所ノ名稱及所在地

三 第一種防毒具又ハ防毒檢定器ノ種類、型式、構造及性能

四 製造方法及製造設備(製品檢査設備ヲ含ム)ノ概要竝ニ一年ノ製造能力

五 主任技術者ノ氏名及履歷

六 第一種防毒具又ハ防毒檢定器ニ添付スル性能説明書

2 前項第三號乃至第六號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ前項ニ準ジ許可ヲ受クベシ

3 第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ第一項ニ準ジ內務大臣ニ届出ツベシ

第四條 第一種防毒具又ハ防毒檢定器ノ製造者、輸入者又ハ移入者ハ其ノ製造、輸入又ハ移入シタル第一種防毒具又ハ防毒檢定器ニ其ノ型式及製造年竝ニ製造者ノ氏名(法人ニ在リテハ其ノ名稱)又ハ商號ヲ明記シ且防毒面吸收罐又ハ防毒濾函ニ別表ニ掲グル性能標識ヲ附スベシ

第五條 第一種防毒具又ハ防毒檢定器ノ製造者、輸入者又ハ移入者ハ其ノ製造、輸入又ハ移入シタル第一種防毒具又ハ防毒檢定器ニ付內務大臣ノ定ムル所ニ依リ檢定ヲ受クベシ

2 前項ノ檢定ニ合格シタル第一種防毒具又ハ防毒檢定器ニハ第一號様式ノ檢定證印ヲ附ス

第六條 第二種防毒具、防毒藥物又ハ防毒具材料ヲ發賣セントスル者ハ左ノ各號ニ掲グル事項ヲ具シ見本品ヲ添ヘ主タル業務所所在地ノ地方長官ノ許可ヲ受クベシ

一 氏名(法人ニ在リテハ其ノ名稱)、商號及業務所所在地



二 製造所ノ名稱及所在地

三 第二種防毒具ニ在リテハ其ノ種類、型式、構造及性能

四 防毒藥物ニ在リテハ其ノ品名、品質及效能(製劑ニ在リテハ原料品名及其ノ分量並ニ製造方法ノ概要ヲ併記スルコト)

五 防毒具材料ニ在リテハ其ノ品名、品質及性能

六 第二種防毒具、防毒藥物又ハ防毒具材料ニ添付スル性能又ハ效能説明書

2 前項第三號乃至第六號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ前項ニ準ジ許可ヲ受クベシ

3 第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ第一項ニ準ジ地方長官ニ届出ツベシ

第七條 第二種防毒具ノ發賣者ハ其ノ發賣スル第二種防毒具ニ其ノ型式及發賣者ノ氏名(法人ニ在リテハ其ノ名)稱又ハ商號ヲ明記スベシ

2 防毒藥物ノ發賣者ハ其ノ發賣スル防毒藥物ノ容器又ハ被包ニ防毒藥物ナル文字、品名及發賣者ノ氏名(法人ニ在リテハ其ノ名稱)又ハ商號ヲ明記スベシ

3 防毒具材料ノ發賣者ハ其ノ發賣スル防毒具材料ノ容器又ハ被包ニ防毒具材料ナル文字、品名及發賣者ノ氏名(法人ニ在リテハ其ノ名稱)又ハ商號ヲ明記スベシ

第八條 防毒具、防毒檢定器、防毒藥物又ハ防毒具材料ノ請賣營業ヲ爲サントスル者ハ營業所毎ニ營業所所在地ノ地方長官ニ届出ツベシ

第九條 第五條第二項ノ規定ニ依ル檢定證印ナキ第一種防毒具若ハ防毒檢定器又ハ第四條若ハ第七條ノ規定ニ依ル表示若ハ性能標識ナキ防毒具、防毒檢定器、防毒藥物若ハ防毒具材料ハ之ヲ販賣スルコトヲ得ズ

第十條 防毒具、防毒檢定器、防毒藥物又ハ防毒具材料ハ第三條第一項第六號ノ性能説明書又ハ第六條第一項第六號ノ性能若ハ效能説明書ヲ添付スルニ非ザレバ之ヲ販賣スルコトヲ得ズ

第十一條 第一種防毒具又ハ防毒檢定器ノ修覆營業ヲ爲サントスル者ハ營業所毎ニ營業所所在地ノ地方長官ノ許可ヲ受クベシ

第十二條 第一種防毒具又ハ防毒檢定器ノ修覆營業者ハ其ノ修覆シタル第一種防毒具又ハ防毒檢定器ニ付内務大臣ノ定ムル所ニ依リ檢定ヲ受クベシ

2 前項ノ檢定ニ合格シタル第一種防毒具又ハ防毒檢定器ニハ第二號様式ノ檢定證印ヲ附ス

3 前項ノ規定ニ依ル檢定證印ナキ第一種防毒具又ハ具毒檢定器ハ之ヲ修覆シタルモノトシテ交付スルコトヲ得ズ

第十三條 地方長官ハ當該官吏ヲシテ防毒具、防毒檢定器、防毒藥物若ハ防毒具材料ヲ製造、貯藏若ハ販賣スル場所ヲ巡視セシメ又ハ防毒具、防毒檢定器、防毒藥物若ハ防毒具材料ヲ檢定セシムルコトヲ得

第十四條 第一種防毒具又ハ防毒檢定器ノ製造者、輸入者又ハ移入者其ノ業務ニ關シ犯罪若ハ不正ノ行爲アリタルトキ又ハ本令ノ規定ニ違反シタルトキハ内務大臣ハ其ノ許可ヲ取消スコトヲ得

第十五條 第二種防毒具、防毒藥物若ハ防毒具材料ノ發賣者、防毒具、防毒檢定器、防毒藥物若ハ防毒具材料ノ請賣營業者又ハ第一種防毒具若ハ防毒檢定器ノ修覆營業者其ノ業務ニ關シ犯罪若ハ不正ノ行爲アリタルトキ又ハ本令ノ規定ニ違反シタルトキハ地方長官ハ其ノ許可ヲ取消シ又ハ營業ヲ禁止若ハ停止スルコトヲ得

第十六條 第三條第一項ノ規定ニ違反シタル者ハ三月以下ノ懲役ニ處ス

第十七條 第六條第一項ノ規定ニ違反シタル者ハ三月以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス



防毒資材取締規則

三二

- 一 第三條第二項、第四條、第六條第二項、第七條乃至第九條、第十一條又ハ第十二條第三項ノ規定ニ違反シタル者
  - 二 第十三條ノ規定ニ依ル巡視又ハ検査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者
  - 三 第十五條ノ規定ニ依ル營業ノ停止中其ノ營業ヲ爲シタル者
- 第十九條 第三條第三項、第六條第三項又ハ第十條ノ規定ニ違反シタル者ハ科料ニ處ス
- 第二十條 防毒具、防毒檢定器、防毒藥物又ハ防毒具材料ノ製造者、輸入者、移入者、發賣者、請賣營業者又ハ修覆營業者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本令ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ
- 第二十一條 本令ニ依リ適用スベキ罰則ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ
- 第二十二條 本令ハ陸海軍ノ用ニ供スル防毒具、防毒檢定器、防毒藥物及防毒具材料ニ付テハ之ヲ適用セズ

附 則

- 1 本令ハ昭和十三年六月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 2 本令公布ノ際現ニ防毒具、防毒檢定器若ハ防毒藥物ヲ製造若ハ發賣スル者又ハ其ノ請賣營業ヲ爲ス者ハ本令施行後一月以内ニ第三條、第六條又ハ第八條ノ規定ニ依ル手續ヲ爲スベシ
- 3 前項ノ規定ニ依リ第三條又ハ第六條ノ許可ヲ申請シタル者ニ付テハ其ノ申請ニ對スル許可又ハ不許可ノ處分ノ日迄第四條、第五條及第七條ノ規定ハ之ヲ適用セズ

4 本令施行ノ際現ニ存スル防毒具、防毒檢定器若ハ防毒藥物又ハ第二項ノ規定ニ依リ第三條若ハ第六條ノ許可ヲ申請シタル者ガ其ノ申請ニ對スル許可若ハ不許可ノ處分ノ日迄ニ製造若ハ發賣シタル防毒具、防毒檢定器若ハ防毒藥物ニ付テハ本令施行後一年間第九條及第十條ノ規定ハ之ヲ適用セズ

別 表

防毒面吸收罐及 防毒濾函種類	性 能 標 識	
	標 識 色	標識記號
普通瓦斯用	灰色及黑色	イ
酸性瓦斯用	灰色	ロ
有機瓦斯用	黒色	ハ
粉塵用	白色	ホ
一酸化炭素用	紅色	ヘ
消 防 用	白色及紅色	ト

  

金屬煙氣用	白色及黑色	チ
アンモニア用	緑色	リ
亞硫酸及硫酸用	橙 色	ヌ
青 酸 用	青 色	ル
硫化水素用	黄 色	ヲ
酸化水素及砒化水素用	藍 色	ワ
各種瓦斯及煙霧用	暗 赤 色	カ
防 空 用	色	ヨ

備 考

- 一 標識色ハ外部全面一様ニ塗色シ二色ノ場合ハ上下二層ニ塗色スルコト
- 二 標識記號ハ白字ヲ以テ表スコト但シ標識色白色ナルトキハ黒字ヲ以テ表スコト

樣 式 略



◎防空委員會令

(昭和十二年十月二十三日)  
(勅令第五百九十八號)

- 第一條 防空委員會ハ中央防空委員會、道府縣防空委員會及市町村防空委員會トス
- 2 中央防空委員會及道府縣防空委員會ハ内務大臣、市町村防空委員會ハ地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監以下之ニ同ジ)ノ監督ニ屬ス
- 3 道府縣防空委員會及市町村防空委員會ハ防空法第二條及防空法施行令第一條ノ規定ニ依リ其ノ權限ニ屬セシメタル事項ヲ調査審議ス
- 4 委員會ハ前項ノ外關係行政廳ノ諮問ニ應ジ防空ニ關スル重要事項ヲ調査審議ス
- 5 委員會ハ防空ニ關スル重要事項ニ付關係行政廳ニ建議スルコトヲ得
- 第二條 中央防空委員會ハ内務省ニ之ヲ置ク
- 2 道府縣防空委員會ハ道府縣毎ニ、市町村防空委員會ハ防空法第二條ノ規定ニ依リ地方長官ノ指定スル市町村長ノ統轄スル市町村毎ニ之ヲ置キ道府縣又ハ市町村ノ名ヲ冠ス
- 第三條 委員會ハ會長及委員ヲ以テ之ヲ組織ス
- 第四條 中央防空委員會ノ會長ハ内務大臣、道府縣防空委員會ノ會長ハ地方長官、市町村防空委員會ノ會長ハ市町村長ヲ以テ之ニ充ツ
- 第五條 中央防空委員會ノ委員ハ四十人以内トス
- 2 道府縣防空委員會ノ委員ノ定數ハ内務大臣、市町村防空委員會ノ委員ノ定數ハ地方長官之ヲ定ム

- 3 前二項ノ定員ノ外必要アルトキハ臨時委員ヲ置クコトヲ得
- 第六條 中央防空委員會ノ委員及臨時委員ハ内務大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ズ
- 2 道府縣防空委員會ノ委員及臨時委員ハ内務大臣之ヲ命ズ
- 3 市町村防空委員會ノ委員及臨時委員ハ地方長官之ヲ命ズ
- 第七條 委員ノ任期ハ四年トス但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ任期中之ヲ解任スルコトヲ妨ゲズ
- 第八條 會長ハ會務ヲ總理ス
- 2 會長事故アルトキハ中央防空委員會ニ在リテハ内務大臣ノ指名スル委員、道府縣防空委員會ニ在リテハ地方長官ノ指名スル委員、市町村防空委員會ニ在リテハ市町村長ニ代リ其ノ職務ヲ行フ者會長ノ職務ヲ代理ス
- 第九條 委員會ニ幹事ヲ置ク中央防空委員會ノ幹事ハ内務大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ジ道府縣防空委員會ノ幹事ハ内務大臣、市町村防空委員會ノ幹事ハ地方長官之ヲ命ズ
- 2 幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス
- 第十條 委員會ニ書記ヲ置ク中央防空委員會ノ書記ハ内務大臣、道府縣防空委員會ノ書記ハ地方長官、市町村防空委員會ノ書記ハ市町村長之ヲ命ズ
- 2 書記ハ會長及幹事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス
- 第十一條 中央防空委員會ニ關スル費用ハ國庫、道府縣防空委員會ニ關スル費用ハ道府縣、市町村防空委員會ニ關スル費用ハ市町村ノ負擔トス
- 第十二條 町村組合ニシテ町村ノ事務ノ全部又ハ役場事務ヲ共同處理スルモノハ本令ノ適用ニ付テハ之ヲ一町村、其ノ組合管理者ハ之ヲ町村長ト看做ス



2 町村制ヲ施行セザル地ニ於テハ本令中町村ニ關スル規定ハ町村ニ準ズベキモノニ、町村長ニ關スル規定ハ町村長ニ準ズベキ者ニ之ヲ適用ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

官廳防空令

(昭和十二年九月二十九日勅令第五百五十五號)

第一條 本令ニ於テ官廳防空計畫ト稱スルハ國ニ於テ管理スル施設ニ關スル防空ノ實施及之ニ關シ必要ナル設備又ハ資材ノ整備ニ關スル計畫ヲ謂フ

第二條 內閣總理大臣又ハ各省大臣(陸軍大臣及海軍大臣ヲ除ク以下之ニ同ジ)ハ自ラ官廳防空計畫ヲ設定シ又ハ其ノ監督ニ屬スル行政官廳ニシテ必要アリト認ムルモノヲ指定シ官廳防空計畫ヲ設定セシムベシ

2 內閣總理大臣又ハ各省大臣ノ設定スル官廳防空計畫ハ內務大臣、陸軍大臣及海軍大臣ニ、其ノ他ノ行政官廳ノ設定スル官廳防空計畫ハ地方長官及防空法施行令第七條ノ陸海軍司令官ニ協議スベシ

第三條 官廳防空計畫ノ設定者ハ其ノ防空計畫ニ基キ防空ヲ實施シ又ハ防空ノ實施ニ關シ必要ナル設備若ハ資材ノ整備ヲ爲スベシ

第四條 內務大臣ハ防空法施行令第五條ノ規定ニ依リ防空ノ實施ノ開始又ハ終止ヲ命ズルトキハ同時ニ內閣總理大臣及各省大臣ニ其ノ旨通知スベシ

2 內務大臣前項ノ通知ヲ爲シタルトキ又ハ內閣總理大臣及各省大臣前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ監督ニ屬スル關係アル官廳防空計畫ノ設定者ニ其ノ旨通知スベシ

3 前二項ノ通知アリタル場合ニ於テ防空ノ實施ノ開始及終止ニ關シテハ防空法施行令第六條ノ規定ヲ準用ス

第五條 國ニ於テ管理スル施設(陸海軍ノ官衙學校ヲ除ク)ニ關スル燈火管制ノ實施及訓練ニ關シテハ防空法第八條及第十條第三項ノ規定並ニ之ニ基キテ發スル命令ノ規定ヲ準用ス但シ之ニ依リ難キ事項ニ關シテハ內閣總理大臣



又ハ各省大臣ハ内務大臣、陸軍大臣及海軍大臣ニ協議シ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得  
 第六條 内閣總理大臣及各省大臣ハ其ノ監督ニ屬スル官廳防空計畫ノ設定者ニ對シ防空計畫ノ全部又ハ一部ニ基キ防空ノ訓練ヲ爲スベキコトヲ命ズルコトヲ得

附 則

本令ハ防空法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一條 各省大臣ニ其ノ官廳

第四條 内務大臣ハ其ノ官廳

第五條 各省大臣ハ其ノ官廳

第六條 各省大臣ハ其ノ官廳

第七條 各省大臣ハ其ノ官廳

第八條 各省大臣ハ其ノ官廳

第九條 各省大臣ハ其ノ官廳

第十條 各省大臣ハ其ノ官廳

第十一條 各省大臣ハ其ノ官廳

第十二條

◎行政執行法

(明治三十三年六月二日 法律第八十四號) (抄)

第五條 當該行政官廳ハ法令又ハ法令ニ基ツキテ爲ス處分ニ依リ命シタル行爲又ハ不行爲ヲ強制スル爲左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

- 一 自ラ義務者ノ爲スヘキ行爲ヲ爲シ又ハ第三者ヲシテ之ヲ爲サシメ其ノ費用ヲ義務者ヨリ徴收スルコト
- 二 強制スヘキ行爲ニシテ他人ノ爲スコト能ハサルモノナルトキ又ハ不行爲ヲ強制スヘキトキハ命令ノ規定ニ依リ二十五圓以下ノ過料ニ處スルコト
- 2 前項ノ處分ハ豫メ戒告スルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス但シ急迫ノ事情アル場合ニ於テ第一號ノ處分ヲ爲スハ此ノ限ニ在ラス
- 3 行政官廳ハ第一項ノ處分ニ依リ行爲又ハ不行爲ヲ強制スルコト能ハスト認ムルトキ又ハ急迫ノ事情アル場合ニ非サレハ直接強制ヲ爲スコトヲ得ス

第六條 第三條及第五條ノ費用及第五條ノ過料ハ國稅徵收法ノ規定ニ依リ之ヲ徴收スルコトヲ得  
 2 行政官廳ハ前項ノ徴收金ニ付國稅ニ次キ先取特權ヲ有ス  
 3 第一項ノ費用及過料ニ關スル繰替支辨、收入ノ所屬其ノ他必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム



●行政執行法施行令

(明治三十三年六月二日) (勅令第二百五十三號) (抄)

- 第四條 行政執行法第五條ノ過料ハ處分ヲ爲ス行政官廳ノ區別ニ從ヒ左ノ金額ヲ超ユルコトヲ得ス
- 一 各省大臣 二十五圓
  - 二 廳府縣長官 十圓
  - 三 其ノ他ノ行政官廳 二圓
- 第五條 行政執行法第五條ノ戒告ハ履行期間ヲ定メ且書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ
- 第六條 行政執行法第五條ノ費用ノ徵收ハ現ニ要シタル費用及其ノ納期日ヲ決定シ決定書ノ正本ヲ義務者ニ交付シテ之ヲ爲スヘシ
- 2 過料ノ處分ハ其ノ金額及納期日ヲ決定シ決定書ノ正本ヲ義務者ニ交付シテ之ヲ爲スヘシ
- 第七條 第一項 行政執行法第五條ノ費用ハ事務費ノ所屬ニ從ヒ國庫又ハ府縣經濟ヨリ之ヲ支出シ其ノ徵收金及過料ハ事務費ノ所屬ニ從ヒ國庫又ハ府縣經濟ニ收入スヘシ

●防空通信規則

(昭和十三年一月二十八日) (逓信省令第九號)

- 第一條 防空通信ニ關シテハ本令ノ定ムル所ニ依ル
- 第二條 防空通信トハ戰時又ハ事變ニ際シ防空ノ實施ニ直接必要ナル電信、電話、無線電信又ハ無線電話ニ依ル通信ニシテ關係陸海軍官憲、關係官公署及之等ノ命ヲ受ケ防空ノ實施ニ從事スル者相互間ニ發受スルモノヲ謂フ
- 第三條 防空通信ハ左ノ三種トス
- 一 警報 防空警報ヲ防空警報發令官又ハ通信官署ヨリ通報スル通信
  - 二 情報 報 防空監視ノ事務ニ從事スル者ヨリ航空機ノ行動ヲ報告スル通信
  - 三 指揮連絡報 防空機關相互間ニ於ケル指揮及當該指揮ニ對スル措置報告等ニシテ緊急ヲ要スル通信
- 第四條 警報ハ最先順位ヲ以テ之ヲ取扱フ
- 2 情報ハ警報ニ次グ先順位ヲ以テ之ヲ取扱フ
- 3 指揮連絡報ハ至急官報又ハ至急通話ト同一順位ヲ以テ之ヲ取扱フ
- 第五條 防空電報ハ電報取扱時間ニ拘ラズ之ヲ取扱フ
- 第六條 電話官署警報又ハ情報ノ取扱上必要アリト認ムルトキハ他ノ通話ヲ中斷スルコトアルベシ
- 第七條 防空通信ヲ發スル者ハ其ノ請求ノ際第三條ノ種別ヲ申出ツベシ
- 第八條 防空通信ハ無料トス
- 2 防空通信ノ爲必要ナル加入又ハ専用電話ニ關スル料金ハ之ヲ特定又ハ免除スルコトアルベシ



第九條 公衆通信ヲ取扱ハザル私設又ハ官應用ノ電信、電話、無線電信若ハ無線電話ヲシテ防空通信ノ取扱ヲ爲サシムルトキハ其ノ旨ヲ當該施設者ニ通知ス

第十條 防空通信ノ取扱ヲ爲ス私設又ハ官應用ノ電信、電話、無線電信若ハ無線電話ハ其ノ専用通信ニ優先シ防空通信ヲ取扱フベシ但シ人命、財産ノ安全ニ關シ緊急ヲ要スル専用通信ハ此ノ限ニ在ラズ

第十一條 第九條ノ通知ヲ受ケタル私設又ハ官應用ノ無線電信若ハ無線電話ハ其ノ通信執務時間ニ拘ラズ防空通信ノ取扱ヲ爲スベシ

第十二條 電信法第二條第四號、無線電信法第二條第三號、官應用電信電話規程第一條第四號又ハ官應用無線電信無線電話規則第一條第三號ニ依ル施設ニシテ第九條ノ規定ニ依リ防空通信ノ取扱ヲ爲スモノハ私設電信私設無線電信公衆通信取扱規則第三條及第十一條ノ規定ニ拘ラズ託送取扱ヲ爲スコトヲ得

第十三條 私設又ハ官應用ノ電信、電話、無線電信若ハ無線電話ニ於テ取扱ヒタル防空通信ニ對シテハ取扱費ヲ支給セズ

第十四條 逓信大臣ハ防空通信上必要アリト認ムルトキハ私設又ハ官應用ノ電信、電話ノ設備ノ變更、使用ノ制限若ハ停止ヲ命ズルコトアルベシ

第十五條 本令ニ規定ナキ事項ハ電信、電話、無線電信又ハ無線電話ニ關スル一般ノ規定ニ依ル

第十六條 防空ノ訓練ニ際シ逓信大臣ニ於テ必要アリト認ムルトキハ別ニ告示スル所ニ依リ本令ノ規定ヲ準用ス

附 則  
本令ハ昭和十三年二月十日ヨリ之ヲ施行ス

### ●燈火管制規則施行ニ關スル件依命通牒

(昭和十三年四月四日內務省發賣)  
第二八號各地方長官宛內務次官)

今般燈火管制規則公布相成候處之方施行ニ關シテハ左記ニ依リ其ノ運用上萬遺憾ナキヲ期セラレ度依命此段及通牒候也

#### 記

#### 第三條ノ關係

(一) 本令ニ依ル光ノ秘匿義務者ハ防空法第八條、第十條ニ定ムル所ニ依リ「其ノ實施區域内ニ於ケル光ヲ發スル設備又ハ裝置ノ管理者又ハ之ニ準ズベキ者」ナルモ平素ヨリ充分調査シテ責任者ヲ定メ置ク様指導スルコト

(二) 光ノ秘匿ハ本條ニ依リ日没ヨリ日出迄ノ間之ヲ行フコトト規定セラルルモ日没、日出ノ時間區々ノ爲指導上支障ヲ來スノ虞アルヲ以テ右時間ノ周知方考慮スルコト

#### 第四條ノ關係

(一) 本條ニ依ル光ノ秘匿ハ警戒管制及空襲管制ニアラザル燈火管制ニシテ概ネ戰時又ハ事變ノ當初未ダ警戒管制ヲ必要トセザル程度ノ時期ニ於テ屋外燈ノ一部ヲ秘匿セシムルヲ目的トシ從テ其ノ始期及終期ハ防空警報ニ依ラズ地方長官方其ノ期間ヲ定メ(第十條ノ關係參照)告示スルコトニ依リ秘匿義務ヲ發生セシムルモノナルコト

(二) 本條ニ依ル屋外燈ノ指定ハ燈火及地域ヲ併セ指定スルコト尙燈火ノ指定ニ付テハ種類ニ依リ指定スルコトヲ本則トスルモ事情ニ依リ或ル種類ノ燈火ノ内特定ノ燈火ヲ除外シテ指定スルヲ妨ゲザルコト

(三) 第二項ニ依ル告示ノ周知徹底ニ付テハ大體警戒警報ノ傳達ニ準ジ處置スルコト

燈火管制規則施行ニ關スル件依命通牒



(四) 第二項ニ依ル告示ヲ爲シタルトキハ計畫局ニ速報スルコト  
第五條ノ關係

第二號ノ指定ハ左ノ各號ニ依ルコト

(一) 本條ハ其ノ運用ニ依リテハ燈火管制ノ趣旨ヲ没却スルガ如キ結果ヲ生ズルヲ保シ難キヲ以テ之ガ取扱ニ付テハ特ニ慎重ナルヲ必要トスルモ仍適切ナル活用ニ依リ本令ニ依ル制限ヲ實情ニ即セシムル様十分ノ考慮ヲ拂フコト(本條適用ノ場合ノ概略ニ關シテハ第一號表乃至第七號表ニ關スル記載參照ノコト)

(二) 本號ニ依ル指定ハ

(イ) 一定種類ノ燈火ヲ包括的ニ指定スル方法及個々ノ光ヲ指定スル方法孰レニ依ルモ妨ゲナキコト

(ロ) 指定ニ依リ光ノ秘匿ノ程度ニ關シ本令ノ制限ヲ全ク解除スル場合ト特定ノ條件ヲ附シテ指定シ其ノ條件ノ範圍内ニ於テ本令ノ制限ヲ解除スル場合(例ヘバ特定ノ自動車ノ燈火ヲ本條ニ依リ指定スル場合空襲管制中ト雖モ警戒管制ノ程度ニ秘匿スルモノニ限り之ヲ指定スル等)ト孰レニ依ルモ妨ゲナキコト

(ハ) 成ルベク關係者ヲシテ指定ヲ申請セシムル方法ニ依ルコトトシ必要アルモノニ付テハ申請ナキ場合ニ於テモ指定シ得ルコト

(ニ) 本號ニ依ル指定ノ要アルモノハ平素ヨリ十分調査シ置キ原則トシテ燈火管制ノ實施又ハ訓練ノ事前ニ於テ指定ヲ爲スコトトシ實施又ハ訓練ヲ行フ期間中ニ之ヲ爲スハ已ムヲ得ザル場合ニ限ル様考慮スルコト

(三) 本號ニ依リ指定シタルモノハ告示其ノ他周知ノ方法ヲ講ジ指導上遺漏ナキヲ期スルコト

第六條ノ關係

(一) 第一號ニ付テハ嚴ニ濫用ヲ戒ムルコト第一號ニ依リ光ヲ使用シタルトキハ警察署長ニ届出デシムルコトトシ警

察署長ハ速カニ陸海軍司令官ニ通報スルコト

(二) 第二號ノ許可ハ大體第一號ニ準ズベキ臨時緊急ノ場合(例ヘバ特別ノ事故發生シ又ハ發生ノ虞アル爲必要アル場合等)ノ處置ナル點ニ於テ第五條第二號ニ依リ指定ト區別セラルルモノナルヲ以テ本條ノ適用ハ眞ニ已ムヲ得ザルモノニ限定スルコト尙可及的之ガ許可ノ手續ヲ簡易ニスルコト

第七條ノ關係

(一) 甲、乙ノ區分ハ當該區域ニ對シ警察署、市町村役場等ヲ通ジ周知ノ方法ヲ講ズルコトトシ區分ノ全貌ハ之ヲ秘匿スル様特ニ留意スルコト、特ニ船舶ニ對スル周知方法ニ關シテハ十分考究スルコト

(二) 甲、乙ノ區分ヲ定メタルトキハ直ニ計畫局ニ報告スルコト

(三) 第二項ニ依リ海上ノ區域ヲ定ムルモノニ關シテハ追テ示達スル所ニ依ルコト

第八條ノ關係

各表中ノ許可又ハ指定ノ取扱ニ付テハ各表ニ關スル記載參照ノコト

第九條ノ關係

遮光ニ關シテハ遮光裝置ヲ施サズトモ各表ニ掲グル遮光條件ニ合致スルモノハ差支ナキコト

第十條ノ關係

(一) 第一號ニ關シテハ各表ニ掲グル記載參照ノコト

(二) 第二號ニ關シテハ陸海軍司令官ト特ニ緊密ナル連絡ヲ取ルコト

(三) 第三號ニ關シテモ第一號ニ付各表ニ記載シタル所ニ準ジ一般ノ方針ヲ協定シテ手續ノ簡易化ヲ考慮スルコト

(四) 第四號ニ關シテ防空訓練ノ場合ニ於テハ前號ト同様ノ取扱ヲ爲スコト



第一號表乃至第七號表ニ就テ

(一) 従前指導上用ヒラレタル規定ト各表トノ主要ナル差異ハ左ノ如シ

種類	警戒		管制	
	乙	甲	乙	甲
街路燈類及之ニ準ズルモノ	街路面一〇〇平方米ニ付一燭光ヲ一・五燭光ニ改メタルコト	残置スル場合ノ最大照度〇・一「ルクス」ヲ〇・一五「ルクス」ニ改メタルコト		
屋外作業燈類及之ニ準ズルモノ	作業面一〇〇平方米ニ付二燭光ヲ三燭光ニ改メタルコト	残置スル場合ノ最大照度〇・二「ルクス」ヲ〇・三「ルクス」ニ改メタルコト		
普通屋内燈類及之ニ準ズルモノ	從來ノ方法ノ外減光ノ程度ヲ嚴ニスルトキハ遮光條件ヲ緩ニシ得ル場合並ニ漏光制限ノ方法ヲ認メ融通性アラシメタルコト	〇・減光且遮光ノ場合ニ於テ室ノ廣サ三平方米ニ付一燭光ヲ〇・五燭光ニ改メタルコト		
自動車燈類	前照燈及側燈ニ付前方一定ノ位置ニ於ケル照度ヲ標準トシテ制限シテ減光方法ノ選擇ノ範圍ヲ大ナラシムルト共ニ遮光方法ニ付テモ同様ニ選擇ノ餘地ヲ大ナラシメタルコト			

(二) 業態又ハ燈火ノ種類ニ應ジ夫々適切ナル秘匿ノ程度ヲ明カニスルト共ニ成ルベク其ノ方法ノ標準ヲ示シ各種ノ照明方法ヲ考案セシムル様努ムルコト

(三) 各表ノ記載中

減光 或ハ 消滅 或ハ 減光且遮光 或ハ 漏光制限 等トアルハ夫々其ノ執レノ方法ニ依ルモ妨ゲナキ意ナルヲ以テ留意スルコト

第一號表ノ關係

標識燈類

標識燈ノ種類ニヨリ標識ノ目的ヲ標示スル記號ヲ表ス様工夫セシムルコト

街路燈類

(一) 警戒管制(甲)ノ許可ハ直ニ消燈シ得ル裝置並ニ適當ナル通信連絡ノ處置アルモノヲ標準トスベキコト此ノ場合ノ規則第十條第一號ニ依ル協議ハ右ノ方針ニ付陸海軍司令官ト協定シテ重要ナルモノヲ除クノ外ハ同條但書ニ依リ個々ノ協議ヲ省略スル様取計フコト

(二) 統一的ニ減光シ又ハ消燈シ得ル裝置アルモノニ付テハ差當リ規則第五條第二號ヲ適用シテ遮光條件ノ制限ヲ緩和スルモ妨ゲナキコト

門軒燈類

警戒管制(甲)ノ許可ハ街路燈類ニ準ズルコト

屋外作業燈類

(一) 警戒管制(甲)ノ許可ハ直ニ消燈シ得ル裝置及適當ナル通信連絡ノ處置アルモノヲ標準トスルト共ニ最大照度ト爲ス場合ノ直射光ニ依ル被照面積ノ最大限度等ニ付陸海軍司令官ト協定シ置キ重要ナルモノヲ除クノ外ハ規則第十條第一號ニ依ル協議ハ同條但書ニ依リ省略スル様取計フコト

(二) 起重機ヲ用フル作業ニシテ特ニ止ムヲ得ザルモノニ付テハ規則第五條第二號ノ適用ニ依リ船舶關係燈ノ起重機ヲ用フル燈火ニ準ジ處置スルコト

第二號表ノ關係

燈火管制規則施行ニ關スル件依命通牒



店先燈類

「店先陳列箱照明燈」ハ持子運ビ得ル陳列箱ノ照明燈ヲ指稱シ建物ニ固定シタル所謂「シヨウウインドウ」ノ照明燈ハ普通屋内燈類ニ包含スルコト  
普通屋内燈類

- (一) 警戒管制(乙)ノ(ロ)ノ場合ハ減光ノ程度ヲ嚴ニシタルトキハ遮光條件ヲ緩和セントスル趣旨ニシテ此ノ場合ニ於テハ直射光ガ不必要ニ外部ニ漏レザル様指導スルコト
- (二) 漏光制限ハ左ノ各號ニ依ルコト
  - (イ) 漏光制限ハ差當リ特殊ノ工場、特ニ照明ヲ必要トスル店舗等ニ限り照明方法及漏光部ノ光量ヲ申出デシメ支障ナシト認ムル場合ニ於テ許可スルコト
  - (ロ) 許可シタルトキハ照明方法ヲ當該場所ニ提出セシムル等取締上遺漏ナカラシムルコト
  - (ハ) 漏光制限ノ許可ニ付テモ成ルベク一般ノ方針ヲ陸海軍司令官ト協定シ置キ規則第十條第一號ニ依ル協議ハ同條但書ニ依リ省略スルコト

第三號表ノ關係

自動車燈類

- (一) 前照燈及側燈ノ秘匿ノ程度ヲ從前指導上用ヒラレタルモノト異ニシタルハ減光方法並ニ遮光方法ノ選擇ノ範圍ヲ大ナラシメタル趣旨ナルニ付自動車ノ種類用途等ニ應ジ適當ナル方法ヲ考究セシムルコト
- (二) 空襲管制中特ニ點燈ヲ必要トスル自動車(消防自動車、防空ニ從事スル自動車、特殊ノ公用自動車、特ニ運轉繼續ヲ必要トスル乗合自動車等但シ防空實施ノ場合ト防空訓練ノ場合トハ自ラ取扱ヲ異ニスル要アルハ勿論ト

第四號表ノ關係

車輛燈類

ス)ノ燈火ハ規則第五條第二號ヲ適用シ一定ノ記號ヲ附シ及其ノ數ノ制限ヲ爲ス等ノ條件ノ下ニ點燈ヲ認ムルコト

ト

車内照明燈ニ付警戒管制ノ(ロ)ノ指定ハ車輛ノ構造上漏光面比較的小ナルコト、迅速ニ減光シ得ル設備アルコト等ヲ審査ノ上支障ナシト認ムルモノニ限り之ヲ爲シ(概ネ車輛ノ種類ニ依リ指定ノコト)此ノ場合ノ規則第十條第一號ニ依ル協議ハ前記ノ諸例ニ準ズルコト

特殊照明燈類

- (一) 入換作業用構内照明燈、乗降場屋外燈等ニ付警戒管制(甲)ノ許可ハ屋外作業燈類ノ例ニ準ズルコト
- (二) 各種詰所屋外燈等ノ警戒管制(甲)ノ許可ハ街路燈類ノ例ニ準ズルコト
- (三) 屋外各種表示燈ニ付警戒管制ノ場合但書ニ依リ指定スルモノハ申請ニ基キ鐵道軌道ノ運營上必要ナル最少限度ニ止ムルコト

踏切燈類

踏切警報器燈ハ警戒管制(乙)ニ於テ空襲管制ニ移リ易カラシムル爲適宜減光スルモ妨ゲナキコト

第五號表ノ關係

航路關係燈

航路標識燈ノ秘匿ノ程度ハ關係ノ向ニ夫々適達スベキコト(特ニ公表セザル様留意スルコト)

船燈類

燈火管制規則施行ニ關スル件依命通牒



燈火管制ノ訓練ヲ爲ス場合ニ於テ海上衝突豫防法ニ規定スル船燈ニ付テハ第五號表備考ノ規定ヲ適用シ遞信省ニ於テ其ノ旨告示スルコト

船舶照明燈類

- (一) 一般船室外照明燈、起重機ヲ用フル荷役用船室外照明燈ニ付警戒管制(甲)ノ許可ハ屋外作業燈類ニ準ズルコト
- (二) 漁火ニ關シテハ速カニ研究ノ上更ニ適當ナル方針ヲ定ムルノ要アルモ差當リ概ネ一般船室外照明燈ニ準ズルコトトシ防空訓練ノ場合ニ於テハ時期、區域等ヲ定メ第五條第二號ニ依リ制限ヲ適用セザル等ノ取扱ヲ考慮スルコト

埠頭燈類

- (一) 埠頭上屋倉庫屋外燈等ニ付警戒管制ノ(甲)ニ於ケル許可ハ屋外作業燈類ニ準ズルコト
- (二) 屋外各種表示燈ニ付警戒管制ニ於テ特ニ指定スルモノハ鐵道軌道關係燈ノ屋外各種表示燈ニ準ズルコト

第六號表ノ關係

航空關係燈ノ秘匿ノ程度ハ關係ノ向ニ夫々通達スベキコト

第七號表ノ關係

火煙類

- (一) 各種事業場等ニ於ケル秘匿ノ設備ハ速ニ之ヲ整備セシムルヲ要スルコト勿論ナルモ同時ニ設備完了迄ノ間本令ノ制限ニ依ルコト困難ナルモノニ付テハ必要ニ應ジ規則第五條第二號ヲ運用スルコト
- (二) 防空訓練ノ場合炭燒爐等當業者ノ生計上止ムヲ得ザルモノノ類ニ關シテモ適宜規則第五條第二號ニ依ルコト

官廳防空令ニ依リ本令ヲ準用スル場合ノ取扱

官廳防空令第五條ノ規定ニ依リ本令ハ原則トシテ國ニ於テ管理スル施設ニ關スル燈火管制ノ實施及訓練ニ準用セララルモ此ノ場合ニ於テハ別ニ示スモノノ外第六條及第八條ニ依リ許可ヲ要スル場合ハ夫々警察署長又ハ地方長官ニ協議スルコトトシ右協議ニ付テハ第十條ニ準ジ地方長官又ハ警察署長ニ於テ陸海軍司令官ニ協議スルコト



### ●防毒資材取締規則施行ニ關スル件依命通牒

(昭和十三年五月二十三日内務省發書第  
四四號各地方官宛内務、厚生兩次官)

今般防毒資材取締規則公布相成候處之方施行ニ付テハ左記御留意ノ上關係部課ノ連絡ヲ圓滑ニシ遺憾ナキヲ期セラレ  
度依命此段及通牒候也

#### 記

- 一 本令ハ一般ニ販賣スル防毒具、防毒檢定器、防毒藥物及防毒具材料ニ適用スルモノニシテ陸海軍ノ用ニ供スルモノニ對シテハ之ヲ除外スル趣旨ナルニ付留意スルコト
- 二 本令ニ於テ防毒ト稱スルハ毒性ノ瓦斯、煙霧、液體、粉塵等ヲ吸入シ又ハ此等ガ身體ニ附着スルガ爲ニ生ズル中毒等ヲ防止スル趣旨ナルコト
- 三 防毒具ニハ工場等ニ於テ單ニ防塵等ノ爲ニ使用セラルルガ如キ器具ハ之ヲ包含セザルモノナルコト  
第二種防毒具トハ防毒蚊帳、防毒眼鏡等ノ如ク防毒ノ性能アリトスル器具ヲ指稱スルモノナルコト
- 四 第一種防毒具中酸素呼吸器トハ酸素ヲ發生シ外氣ト隔絶シテ呼吸シ得ル裝置ヲ有シ防毒ノ性能アリトスル器具ヲ指稱シ、防毒濾函トハ防護室等ノ濾過換氣裝置ニ使用シ防毒ノ性能アリトスル器具ヲ指稱スルモノナルコト
- 五 防毒藥物トシテ内務大臣及厚生大臣ノ指定スルヲ要スト認メラルルモノ又ハ防毒具材料トシテ内務大臣ノ指定スルヲ要スト認メラルルモノアリタルトキハ其ノ都度現品ヲ添ヘ具申スルコト
- 六 第三條ノ許可申請書ヲ受理シタルトキハ申請書ノ具備事項其ノ他許否ニ關シ參考ト爲ルベキ事項ニ付調査ヲ遂ゲ

意見ヲ附シ申達スルコト

- 七 第一種防毒具及防毒檢定器ニ付テハ本令所定ノ檢定證印ヲ附スルコトトナリタルヲ以テ此ノ旨一般ニ周知セシムルコト
- 八 第六條第一項ノ許可ヲ爲サントスルトキハ當分ノ間許可申請書及見本品ヲ添ヘ内務省計畫局長(防毒藥物ニ付テハ内務省計畫局長及厚生省衛生局長)ニ協議スルコト  
第六條ノ許可ヲ爲シタルトキ又ハ同條第三項ノ届出アリタルトキニ於テ營業所及製造所ガ他ノ道府縣ニ所在スル場合ハ關係地方長官ニ其ノ旨通報スルコト
- 九 防毒藥物ニシテ其ノ原料ニ毒劇藥又ハ毒劇物ヲ使用スルトキハ其ノ發賣者ハ公衆衛生上ノ危害防止ノ見地ヨリ成ル可ク藥劑師、製藥者又ハ藥事ニ關シ此等ト略々同等ノ知識經驗ヲ有スル者ヲシテ之ヲ爲サシムル様致シタキコト
- 十 藥品ニ非ザル防毒藥物ノ名稱ハ藥局方藥品ニ紛ハシキ名稱ヲ附セシメザルコト
- 十一 發賣ノ許可ヲ受ケタル防毒藥物ニシテ同時ニ毒物劇物タルモノニ對シテハ其ノ販賣交付ノ手續ヲ簡易ナラシムル爲毒物劇物營業取締規則ノ改正アルベキニ付此ノ點特ニ留意スルコト
- 十二 第十一條ノ許可ヲ爲サントスル場合ハ當分ノ間内務省計畫局長ニ協議スルコト第三條ノ許可ヲ受ケタル者ト雖モ修習營業ヲ爲サントスルトキハ許可ヲ要スルヲ以テ注意スルコト
- 十三 第十三條ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ巡視又ハ檢査ヲ爲サシムルトキハ其ノ身分ヲ證スルニ足ルベキ證票ヲ携帶セシメ且防毒藥物ニ關シテハ其ノ營業者ノ種別ニ應ジ藥品巡視又ハ賣藥檢査等ト之ヲ兼ネシムルコト
- 十四 第十四條ノ規定ニ依リ許可ヲ取消ス必要アリト認メラルルトキハ其ノ事由ヲ具申スルコト



十五

本令公布ノ際現ニ防毒具、防毒檢定器若ハ防毒藥物ヲ製造若ハ發賣スル者又ハ其ノ請賣營業ヲ爲ス者ニ對シテハ本令施行後一月以内ニ所定ノ手續ヲ爲ス様本令ノ趣旨ヲ周知セシムルコト

# 司法省防空實施計畫

## 第一編 總 則

### 第一章 防空計畫

第一條 司法省及在京裁判所、檢事局ニ於ケル防空ノ實施ハ本計畫ノ定ムル所ニ依ル

第二條 本計畫ニ依ル防空ノ實施ノ開始及終止ハ司法次官之ヲ命ス

第三條 司法次官必要アリト認ムルトキハ本計畫ニ基キ防空ノ訓練ヲ命ス

### 第二章 防空實施機關

第四條 防空實施ノ爲司法省防衛部（以下部ト稱ス）ヲ置ク

部ハ統監、顧問、部長、參謀、班長及班員（以下部員ト總稱ス）ヲ以テ之ヲ組織ス

第五條 統監ハ司法次官ヲ以テ之ニ充ツ防空ノ實施ヲ統轄ス

顧問ハ大審院長、檢事總長、東京控訴院長、同檢事長及司法省局部部長、東京民事地方裁判所長、東京刑事地方裁判所長、東京刑事地方裁判所檢事正ヲ以テ之ニ充ツ統監ノ諮問ニ應ス

部長ハ司法省ハ秘書課長ヲ、司法省構内裁判所、檢事局ハ會計課長ヲ以テ之ニ充ツ統監ノ命ヲ受ケ班長ヲ指揮監督シ防空ノ實施ニ關スル一切ノ任務ヲ掌理ス



參謀ハ部長ニアラサル司法省官房課長、各部局第一課長及大審院判檢事東京控訴院判檢事東京民事地方裁判所判檢事東京區裁判所監督判事東京區裁判所上席檢事各一名ヲ以テ之ニ充ツ統監ヲ輔佐シ防空ノ實施ニ關スル機務ニ參畫ス

班長及班員ハ司法次官之ヲ命シ或ハ之ヲ委囑ス但シ祕書課、會計課職員（班長ヲ命セラレタルモノヲ除ク）ハ當然班員タルモノトス

班員ノ所屬ハ部長之ヲ定ム

部附ハ統監、部長及參謀ノ命ヲ承ケ事務ニ從事ス

班長ハ上長ノ命ヲ承ケ班員ヲ指揮監督シ班ノ任務ヲ掌理ス

班員ハ班長ノ命ヲ承ケ班ノ任務ニ從事ス

部長又ハ班長支障アルトキハ統監ハ部長又ハ班長ノ任務ヲ代理スヘキモノヲ指定ス

**第六條** 部ニ七班ヲ置ク

各班ノ任務ハ概ネ左ノ通トス

班	任	務
警備班	對空監視、警報及情報ノ傳達、廳中警備並ニ燈火管制ノ監視	
防火班	火災ノ警防	
防毒班	毒瓦斯ノ檢知及消毒	
防護班	避難ノ誘導及防護室ノ管理	

救護班	死傷病者ノ救護
工作班	廳舎及設備ノ修理工作
配給班	物資ノ配給

**第七條** 部長ハ警戒警報ノ發セラレタル時ヨリ警戒警報解除ノ發セラレル迄班長及班員ヲ廳内ニ待機セシメ空襲警報ニ備フヘシ

警備班員ハ部長ノ命令アリタルトキハ警戒警報ノ發セラルル前ヨリ其ノ任務ニ服スヘシ

**第八條** 班長ハ班員ノ勤務及交替ノ方法其ノ他防空ノ實施ニ關スル細目ノ事項ヲ定メ之ヲ部長ニ報告スヘシ

**第九條** 班長ハ其ノ任務ニ關スル重要事項ヲ常ニ部長ニ報告スヘシ

**第十條** 部員ノ使用ニ充ツル室ハ部長之ヲ定メ各室ノ入口ニハ夫々其ノ職名又ハ班名ヲ掲示スヘシ

**第十一條** 部員ハ職名又ハ班名ヲ表示シタル腕章ヲ左腕ニ附スヘシ

**第十二條** 部員ニ非サル者ト雖モ緊急ノ必要ニ基キ部員ノ要求アリタルトキハ直ニ之ニ協力スヘシ

部員ニ非サル者ト雖モ投下彈ノ落下、廳舎若ハ設備ノ破壊、火災又ハ死傷病者ヲ發見シタルトキハ直ニ之ヲ部員ニ通報スヘシ

### 第二編 防空ノ實施

#### 第一章 警備

##### 第一節 總則



第十三條 警備班ハ防空監視、警報及情報ノ傳達並廳中ノ警備燈火管制ノ監視ニ任スヘシ

第二節 防空監視

第十四條 防空監視ハ空襲警報ノ發セラレタル時ヨリ空襲警報解除ノ發セラルル迄之ヲ實施スヘシ

第十五條 監視員ハ敵航空機ヲ發見シ若ハ其ノ爆音ヲ聞キ又ハ投下彈等ノ落下ヲ發見シタルトキハ其ノ機種機數、編隊、方向、高度其ノ他必要ナル事項ヲ警備班長ニ報告スヘシ敵航空機視界又ハ聽界ヲ去リタルトキ亦同シ

第三節 警 戒

第十六條 廳中ノ警戒ハ空襲警報ノ發セラレタル時ヨリ空襲警報解除ノ發セラルル迄之ヲ實施スヘシ

第十七條 警戒ハ一定ノ部署ニ配置スルト共ニ巡回ニ依リテ之ヲ行フ固定警戒ノ場所ハ別圖ノ通トス

第十八條 警戒係ハ投下彈ノ落下廳舍若ハ設備ノ破壊、火災又ハ死傷病者ヲ發見シタルトキハ直ニ之ヲ當該班長ニ報告スヘシ

第四節 警 報

第十九條 防空警報（警戒警報及空襲警報）ハ東部軍司令部ヨリ電話ニテ之ヲ受領スヘシ

第二十條 警戒警報及警戒警報解除ハ電話其ノ他ニ依リ之ヲ廳内ニ傳達スヘシ

第二十一條 空襲警報ハ三秒ヲ間シ六秒繼續十回反覆、空襲警報解除ハ一分間繼續ノ電鈴ヲ以テ之ヲ廳内ニ傳達スヘシ

電鈴ノ設備ナキ場合ニ於テハ適當ナル方法ヲ以テ速報スヘシ

第二十二條 防護警報ハ火災警報及瓦斯警報トシ火災警報ハ警笛、電鈴、口頭等ニ依リ瓦斯警報ハ銅鑼、電話、口頭

ニ依リ之ヲ廳内ニ傳達スヘシ

ニ依リ之ヲ廳内ニ傳達スヘシ

第五節 燈 火 管 制

第二十三條 準備管制、警戒管制及空襲管制ハ燈火管制規則ニ基キ消燈、隱蔽、遮光、漏光制限ニ依ルヘシ

第二十四條 燈火管制ヲ迅速確實ナラシムル爲電燈ノ配電盤ハ成ルヘク中央ニ於テ適當ニ統一管制又ハ撰擇管制ヲ爲シ得ル設備ヲ爲スヘシ

第二十五條 業務上高度ノ照明ヲ必要トスル場合又ハ空襲下ニ於テモ特ニ作業ノ繼續ヲ必要トスル場合若ハ速ニ作業

中止ノ困難ナル場合ハ成ルヘク隱蔽施設ト爲スヘシ

第二十六條 空襲管制中ハ別圖ニ定ムル執務室其ノ他必要ノ場所ノ管制ハ隱蔽シ其ノ他ノ管制ハ全部之ヲ消燈スヘシ

第二十七條 部局ノ長ハ豫メ其ノ所屬ニ屬スル室ノ燈火ニ付會計課長ハ其ノ他ノ燈火ニ付管制責任者及管制實施方法ヲ定メ之ヲ部長ニ通報スヘシ

第二十八條 防火班ハ火災ノ豫防消火等ニ任スヘシ

第二十九條 防火班ハ警戒警報ノ發セラレタルトキ又ハ部長ノ命令アリタルトキハ各自服裝ヲ整ヘ消火栓、消火器具

貯水槽、鑿井及其ノ他ノ水利ヲ點檢整備シ所定ノ場所ニ集合スヘシ

第三十條 消火栓及消火器具ノ所在及火氣取扱場所ハ別圖ノ通トス

司法省防空實施計畫

五九



第三十一條 各物局ノ長ハ發火性、引火性又ハ爆發性ノ物品藥品或ハ重要ノ書類ニ付テハ豫メ其ノ種目數量ヲ調査シ責任者ヲ定メ警戒警報發セラレタルトキハ之ヲ危險ナキ場所ニ整理保存セシムヘシ

第三十二條 各物局ノ長ハ倉庫其他各室ノ扉窓ノ開閉ニ付豫メ責任者ヲ定メ空襲警報發セラレタルトキハ直ニ之ヲ閉鎖セシムヘシ

第三十三條 防火班ハ燒夷彈又ハ爆彈ノ落下等火災ノ原因トナルヘキ事態ヲ發見シタルトキハ直ニ之ヲ防火班長ニ報告スルト共ニ防火ニ必要ナル應急ノ處置ヲ講スヘシ

第三十四條 防火班ハ火災ヲ發見シタルトキハ警笛ヲ吹鳴シ火災報知機其ノ他ノ方法ニ依リ即時消防署ニ通報スヘシ

第三十五條 防火班ハ必要ニ應シ他ノ班員其ノ他ノ防護團又ハ廳員ノ應接ヲ求ムルコトヲ得

第三十六條 夜間ニ於テ編成ノ要員未タ到著セザルトキハ宿直ノ專任者ハ現在ノ人員ヲ以テ防火ニ任ズルト共ニ直ニ消防署其他最寄ノ防護團ニ來接ヲ求メ適切ナル處置ヲスベシ

第三章 防 護

第三十七條 防護班ハ防護室ノ管理及避難者ノ誘導等ニ任スベシ

第三十八條 防護班長ハ防護上必要ナル場所ニ防護室ヲ設ケ之ヲ標識スルト共ニ一般ニ周知セシムベシ

第三十九條 防護班長ハ警戒警報ノ發セラレタルトキ又ハ部長ノ命令アリタルトキハ直チニ防護室ヲ點檢整備スベシ

第四十條 防護班空襲警報ノ發セラレタルトキハ裝備ヲ整ヘ所定ノ場所ニ集合スベシ

第四十一條 避難ハ統監ノ命令ニ依リ之ヲ開始スベシ

第四十二條 避難命令ノ發セラル、迄ハ廳員ハ濫ニ其ノ席ヲ離ルベカラズ

第四十三條 避難命令アリタルトキハ廳員ハ防護班員ノ指揮ニ從ヒ靜肅且秩序整然トシテ防護室ニ避難スベシ

第四十四條 防護室ノ出入及防護室内ノ行動ニ付テハ防護班員ノ指揮指令ニ服從スベシ

第四十五條 防護班長ハ廳員ニ非ザル者ノ避難ノ爲公衆防護室ヲ設クベシ  
公衆防護室ニ付テハ本章ノ規定ヲ準用ス

第四章 防 毒

第四十六條 防毒班ハ空襲時ニ發生スル瓦斯災害防止等ニ任ズベシ

第四十七條 防毒班長ハ廳員ニ對シ平素防毒知識ノ普及徹底ヲ圖ルベシ

第四十八條 防毒班長ハ警戒警報發セラレタルトキ又ハ部長ノ命令アリタルトキハ防毒具、防毒藥物及防毒材料ヲ點檢整備スベシ

第四十九條 空襲警報發セラレタルトキハ防毒班員ハ所要ノ防毒具ヲ準備シ所定ノ場所ニ集合スベシ

第五十條 防毒班員投下彈等ノ落下ヲ發見シタルトキハ直ニ之ヲ防毒班長ニ報告スルト共ニ應急ノ處置ヲ爲スベシ

第五十一條 檢知員毒瓦斯ヲ檢知シタルトキハ銅鑼ヲ亂打シ其種別ヲ一般ニ周知セシムベシ

第五十二條 防毒班長ハ被毒箇所及危險區域ヲ表示シ且被害ノ程度、避難ノ方法通路等ヲ防護班長ニ通報スルト共ニ被毒箇所ヲ速ニ消毒スベシ



第五章 救護

- 第五十三條 救護班ハ傷病者ノ救急收容、治療等ニ任ズベシ
- 第五十四條 救護室ハ別圖ノ通トス
- 第五十五條 救護班長ハ警戒警報ノ發セラレタルトキ又ハ部長ノ命令アリタルトキハ各自服裝ヲ整ヘ救護用器材及藥品ヲ點檢整備シ所定ノ場所ニ集合スベシ
- 第五十六條 救護班ハ死傷病者ヲ發見シタルトキハ直ニ班長ニ報告スルト共ニ應急ノ處置ヲ講ズベシ
- 第五十七條 救護班ハ救護室ノ位置ヲ見易キ場所ニ標識シ豫メ一般應員ニ圖示スベシ
- 第五十八條 救護班ハ救急法及瓦斯傷病救急法等必要ナルモノハ豫メ一般應員ニ周知セシムベシ

第六章 工 作

- 第五十九條 工作班ハ敵航空機ノ來襲ニ對シ偽裝又ハ遮蔽シテ敵機ノ正確ナル爆撃ヲ困難ナラシメ或ハ敵機ノ空襲ニ依ル破壊又ハ火災ニ依ル建築物其ノ他ノ損害ヲ局限スルト共ニ連ニ之ガ復舊ニ任ズベシ
- 第六十條 工作班長ハ警戒警報ノ發セラレタルトキ又ハ部長ノ命令アリタルトキハ應急修理又ハ補強ニ必要ナル工作器具、材料ヲ點檢整備スベシ
- 第六十一條 工作班空襲警報發セラレタルトキハ整備ヲ整ヘ所定ノ場所ニ集合スベシ
- 第六十二條 工作班爆彈燒夷彈等ノ落下ヲ發見シタルトキハ直ニ之ヲ工作班長ニ報告スルト共ニ應急ノ修理又ハ補強ヲ爲スベシ

第七章 配給

- 第六十三條 配給班ハ災害發生ニ際シ必要ナル防護資材其ノ他食料品、飲料水、燃料、被服類其ノ他ノ調達及配給ニ任ズベシ
- 第六十四條 配給班長ハ警戒警報ノ發セラレタルトキ又ハ部長ノ命令アリタルトキハ直ニ資材其ノ他ノ點檢整備ヲ爲シ之ヲ各班長ニ配給スベシ
- 第六十五條 配給班空襲警報發セラレタルトキハ整備ヲ整ヘ所定ノ場所ニ集合シ敏速ニ必要ノ資料其ノ他ヲ配給スベシ
- 第六十六條 配給班長ハ平素ヨリ防空資材ノ調達及配給ニ關シ一定ノ計畫ヲ樹立スベシ
- 第六十七條 配給班ハ各班ニ配給シタル資材ニシテ必要ナキニ至リタルトキハ之ガ返還ヲ求メ一定ノ場所ニ之ヲ藏置スベシ



司法省防空執務細則



司法省防空執務細則

司法省防空執務細則目次

第一編 警備班	一
第一章 總則	一
第二章 防空監視	六
第三章 警報傳達	七
第四章 警備	七
第五章 燈火管制	七
第二編 防火班	八
第三編 防毒班	八
第四編 防護班	八
第五編 救護班	八
第六編 工作班	九
第七編 配給班	一〇



# 司法省防空執務細則

## 第一編 警備班

### 第一章 總則

第一條 警備班員ノ勤務ハ防空實施計畫ニ定ムルモノノ外本細則ノ定ムル所ニ依ル

第二條 警備班ハ之ヲ左ノ三係ニ分チ夫々係長ヲ置ク

一、防空監視係

二、警報係

三、警備係

第三條 警戒警報發セラレタルトキ又ハ部長ノ命令アリタルトキハ係長ハ直ニ班ノ勤務ニ必要ナル防空用具其他ノ資

材ノ受領ノ手續ヲ爲シ之ヲ係員及勤務場所ニ配備スベシ

係長ハ前項ノ資材保管ノ責ニ任ズ

保管資材ノ返還ニ付テハ班長ノ指示スル所ニ依ル

第四條 警備用具ハ概ネ左ノ如シ

一、防空監視係

イ、通信機

司法省防空執務細則



ロ、双眼鏡

ハ、航空機識別圖

ニ、風向風速計

ホ、方向方面板

ヘ、報告要目順序表

二、警報係

イ、警笛

ロ、銅鑼

係員夜間行動スルトキハ非常用懐中電燈ヲ携帯スベシ

係員毒瓦斯下ニ於テ行動スルトキハ防毒面及防毒服ヲ装着スベシ

第五條 係長ハ警備用具ヲ有效ニ保持スルヨウ心掛クベシ

係員ハ前項ノ用具ヲ常ニ點檢シ故障又ハ不足アルトキハ直ニ之ヲ係長ニ報告スベシ

第六條 係長ハ係ノ任務ニ關シ其ノ責ニ任ズ

係長ハ係ノ勤務ニ關シ勤務日誌ヲ作成スベシ

係長ハ重要事項ヲ常ニ班長ニ報告スベシ

第七條 係員ハ班長ノ指示アリタルトキハ他ノ係ノ勤務ヲ援助スベシ

第八條 係員ノ夜間勤務ニ付テハ係長之ヲ定ム

第九條 係員毒瓦斯下ニ於テ行動シタル後ハ除毒室ニ於テ完全ナル消毒ヲ行フベシ

第十條 係員ハ常ニ其ノ勤務ニ屬スル事項ニ付調査研究ヲ怠ラズ且之ニ習熟スルヨウ心掛クベシ

### 第二章 防空監視

第十一條 防空監視係ハ係長ノ外係員概ネ四名ヲ以テ組織ス

第十二條 空襲警報發セラレタルトキハ係員ハ直ニ屋塔其ノ他ノ部署ニツキ勤務ヲ開始スベシ

第十三條 係員屋塔ニ昇リタルトキハ直ニ左ノ事項ヲ係長ニ報告スベシ係員交代シタルトキ亦同ジ

一、氏名

二、天候變化ノ見込

三、風向

風ノ吹キ來ル方向ニ方リ北、北東、東、南東、南、南西、西及北西ノ八方向ヲ以テス

四、風速

米、秒ヲ以テス

第十四條 係員ハ常ニ上空ヲ監視シ音響ニ注意スルト共ニ特ニ監視スベキ方向ニ留意スベシ

第十五條 係員ノ報告要目及順序左ノ如シ

一、發見又ハ爆音聽取ノ方向

二、敵味方

三、機種及機數

四、高度



五百米ノ整數倍ヲ以テシ五百米以下ノ端數ハ切上グ  
五、進行方向

指示方法ハ第一號ニ同ジ

六、投下彈ノ種類、個數、落下地點及方面

第十六條 係員前條以外ノ情報ヲ報告セントスルトキハ簡單明瞭ヲ旨トスベシ

第十七條 係員ハ報告中ト雖モ監視ヲ中絶スベカラズ

第十八條 係員ノ勤務順位ハ係長之ヲ定ム

第十九條 係員ノ勤務ハ晝間三十分、夜間一時間交代トス但シ係長ノ指示アリタルトキハ之ニ依ルベシ

### 第三章 警報傳達

第二十條 警報係ハ係長ノ外係員概ネ五名ヲ以テ組織ス

第二十一條 警報係長ハ防空警報ノ受領方法、其ノ傳達區域、傳達方法等ヲ明確ニシ且之ニ要スル資材設備及要員ノ配置ニ付時々點檢ヲ爲シ不時ノ警報發令ニ備フベシ

第二十二條 警報係長ハ警報傳達系統ノ通信施設ノ破壊又ハ故障等ノ場合ヲ想定シ第二次第三次等ノ副系統ノ方法ヲ具體的ニ計畫シ尙之カ破壊ノ場合ニ備フル爲臨機ノ所置ヲ執リ得ル様準備スベシ

第二十三條 係員警報及同解除ノ通報ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ係長ニ報告スルト共ニ各部局責任者ニ通報スベシ

第二十四條 警戒警報同解除ハ音響信號ヲ用ヒス通常電信、電話、傳令揭示等ノ方法ヲ以テ之ヲ傳達スベシ

第二十五條 空襲警報ノ傳達ハ迅速ヲ本旨トスルヲ以テ所定ノ傳達方法ノ内最モ敏速ナルモノニ依リ、解除ノ傳達ハ確定ヲ本旨トスルヲ以テ責任アル系統ヨリノ傳達ニ依ルベシ

第二十六條 係員空襲警報及同解除ノ通知ヲ受ケタルトキハ直ニ電鈴其他ニ依リ廳内ニ之ヲ傳達スベシ

第二十七條 係員ハ常ニ防空監視係トシ連絡ニ當リ其ノ報告ハ時刻ヲ附記シテ之ヲ記帳スベシ

第二十八條 係員防火班ヨリ火災發生ノ通報ヲ受ケタルトキハ警笛ヲ吹鳴シ、防毒班ヨリ毒瓦斯檢知ノ通報ヲ受ケタルトキハ銅鑼ヲ亂打スベシ

第二十九條 係員ハ口頭ニ依ル警報又ハ情報ノ傳達ヲ命ゼラレタルトキハ確實敏速ヲ旨トシ重要事項ニ付テハ之ヲ復唱シ尙左記事項ニ留意スベシ

一、傳達擔任區域及道順ヲ定メ傳達漏ナキ様努ムルコト

二、警報傳達スル用語ハ左ニ依ルベキコト

イ、警戒警報ハ「警戒警報」ト連呼シ其ノ解除ハ「警戒警報解除」ト連呼スルコト

ロ、空襲警報ハ「空襲」又ハ「空襲警報」ト連呼シ其ノ解除ハ「空襲警報解除」ト連呼スルコト

### 第四章 警 備

第三十條 警備係ハ係長ノ外係員概ネ十二名ヲ以テ組織ス

第三十一條 警戒警報又ハ準備管制發セラレタルトキハ廳舎ノ外周及中庭ヲ照明スル電燈ハ之ヲ消燈スルモノトス

第三十二條 警戒警報發セラレタルトキハ係員ハ左ノ箇所ニ於ケル電燈ノ中深夜間線ニ屬スル電燈及二階以上ノ便所ニ於ケル電燈ヲ管制シテ存置シ其ノ他ノ電燈ヲ最寄分電盤ニヨリ消燈スベシ



- 一、廊 下
- 二、廣 間
- 三、階 段
- 四、便 所

第三十三條 警戒警報發セラレタルトキハ係員ハ前條ノ箇所以外ニ於ケル電燈ニシテ夜間執務ノ届出ナキ箇所ニ於ケルモノヲ變電室又ハ最寄分電盤ニ依リ消燈スベシ

第三十四條 空襲警報發セラレタルトキハ係員ハ直ニ所定ノ消燈ヲ爲スベシ但シ標識燈ハ管制シテ之ヲ存置スベシ

第三十五條 警戒警報發セラレタルトキハ係員ハ必要ノ箇所ニ注水無用ノ標示ヲ爲スベシ

第三十六條 空襲警報發セラレタルトキハ係員ハ直ニ左ノ電氣ノスイツチヲ夫々下記ノ箇所ニ依リ切ルベシ

- 一、充電用電源
- 二、昇降機用機械室電源
- 三、消毒室電源
- 四、寫眞室電源
- 五、試驗動力
- 六、登退應標示器電源

第三十七條 係員ハ警戒管制中又ハ空襲管制中運轉スルヲ要スル自動車又ハ自轉車ノ前照燈又ハ尾燈ヲ所定ノ黒布ヲ以テ覆ハシムベシ

第三十八條 空襲警報發セラレタルトキハ係員ハ中庭ニ於ケル自動車ヲ格納スベシ

第三十九條 空襲警報發セラレタルトキハ係員ハ直ニ巡回警備ヲ開始シ爾後三十分毎ニ之ヲ行フベシ但シ係長ノ指示アリタルトキハ之ニ依ルベシ

第四十條 固定警備ハ狀況ニ依リ係長ノ指示アリタルトキ之ヲ行フモノトス

### 第五章 燈火管制

第四十一條 警戒係長ハ燈火管制ノ種類、目的及光ノ秘匿程度ヲ周知セシムルト共ニ業態又ハ燈火ノ種類ニ應シ適切ナル管制方法ヲ講スベシ

第四十二條 燈火管制ハ燈火管制規則ニ依リ左ニ區分スベシ

- 一、準備管制 (規則第四條)
- 二、警戒管制 (規則第二條)
- 三、空襲管制 (規則第二條)

第四十三條 準備管制トハ敵機來襲ノ程度ニ達セザルモ狀勢相當警戒ヲ要スル場合ニ於テ地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監)ノ指定スル期間屋外燈(標識燈類、街路燈類及屋外作業燈類ヲ除ク)ヲ警戒管制ノ程度ニ依リ其ノ光ヲ秘匿スルヲ謂フ

第四十四條 警戒管制ハ敵機襲來ノ虞アル場合ニ於テ敵機ニ對シ航行上ノ目標ヲ與ヘス且空襲管制ヘノ移行ヲ容易ナラシムルニ在リテ光ノ秘匿程度ハ防空目的ト日常生活ノ保持ノ必要トヲ考慮スベシ

第四十五條 係員ハ警戒管制中ニ於ケル燈火ノ管制ハ左ノ要領ニ依リ監視スベシ

- 一、室ノ廣サ約一坪ニ付十燭光以內ノ割合ニテ一燈ノ最大五十燭光以內且直射光ガ開口部ニ向ハザルコト



二、光源ト開口部トノ距離一間以上ナルトキハ室ノ廣約一坪ニ付一燭光以内ノ割合ニテ一燈ノ最大五燭光以内且直射光ガ水平上ニ向ハザルコト

第四十六條 係員ハ警戒管制ハ通常相當長期ニ互リテ實施セラルルヲ以テ警戒管制中ト雖一般ニ就業シ日常生活ノ保持ニ努メ徒ニ休業シ或ハ作業能率ヲ低下スルカ如キコトナカラシムベシ

第四十七條 空襲管制ハ敵機襲來ノ危険アル場合ニ行ハルルモノニシテ其ノ目的ハ敵機ニ對シ航行上ノ目標及襲撃目標ノ認知ヲ困難ナラシムルニ在リテ光ノ秘匿程度ハ防空目的達成ヲ本旨トスルコトニ留意スベシ

第四十八條 空襲管制ハ一燈ト雖殘ルコトナク確實ニ之ヲ行ヒ且空襲警報ニ應シ分秒ヲ争ヒ迅速ニ行フベシ

第四十九條 係員ハ速ニ空襲管制ヲ行フコト困難ナル場合又ハ空襲警報ノ受領困難若ハ著シク遅延スル場合ハ豫メ警戒管制時ヨリ空襲管制ノ處置ヲ爲スベシ

第五十條 係員ハ空襲管制中ニ於ケル燈火ノ管制ハ左ノ要領ニ依リ監視スベシ

一、隱蔽ヲ完全ナラシムルコト

二、出入ニ際シ漏光セシメザルコト

三、炭火、マツチ、煙草、懐中電燈等ノ光ヲ發セシメザルコト

第五十一條 係員燈火管制ノ監視ヲ行フ場合ハ特ニ左ノ事項ニ留意スベシ

一、日没時及早晨ニ於ケル燈火管制ハ怠リ勝トナルヲ以テ注意スルコト

二、滅光又ハ遮光方法ノ不良ナル爲火災ヲ發生スルコトアルヲ以テ注意スルコト

三、道路ニ面セザル個所及天窗等ハ怠リ勝トナルヲ以テ注意スルコト

第五十二條 左記標識燈類ハ防空ノ實施及訓練上必要アルヲ以テ警戒管制時、空襲管制時ヲ通シ之ヲ殘置スベシ尙重

要ナル標識燈ニ對シテハ電源停止ノ場合ニ備ヘ豫備電源ヲ準備スベシ

一、防護團本部標識燈

二、火災報知機標識燈

三、非常報知機標識燈

四、避難所防護室標識燈

五、救護所 標識燈

六、警察官署標識燈

七、消防官署標識燈

八、消火栓標識燈

本 火 非 非 十 卍 卍 卍 卍

第五十三條 標識燈ハ赤色ノ外球トシ記號以外ノ部分ハ光ヲ透過シ難キ黒ガス毛襦子等ヲ用フベシ

第五十四條 係員燈火管制ノ實施不適當ト認メタルトキハ燈火管制責任者ニ之ヲ注意シ適否明瞭ナラザルトキハ係長ノ指揮ヲ請フベシ

第五十五條 係員ハ燈火管制ノ監視ノ外注意スベキ事項概ネ左ノ如シ

一、火 氣

二、死傷病者ノ有無

三、重要器具機械ノ破損

四、防彈扉閉鎖ノ有無

五、窓硝子ノ破損



六、電氣、水道、瓦斯及暖房ノ故障

第五十六條 係員異狀ヲ發見シタルトキハ應急處置ヲ購ジ得ベキモノハ自ラ之ヲ行ヒ然ラザルモノニ付テハ直ニ之ヲ當該班ニ通報スベシ

第五十七條 燈火管制其ノ他本章ニ定ムル事項ニシテ空襲警報發セラレタルトキ行ヒタルモノハ同警報解除ノ發セラレタルトキ直ニ警戒警報發セラレタルトキ行フベキ事項ニ改ムルモノトス

第五十八條 火災發生シタルトキハ係員ハ左ノ電氣ノスイツチヲ夫々下記ノ箇所ニ依リ切ルベシ  
一、電熱電源

二、呼鈴電源

第五十九條 火災發生シタルトキハ係員ハ直ニ現場ニ至リテ非常持出書類物件ヲ搬出スベシ  
書類物件ノ搬出先ハ係長之ヲ定ム

第六十條 係員ニシテ係長ノ指定シタル者ハ發火箇所ノ窓外、書類物件ノ搬出先等ニ於テ警戒ニ當ルベシ  
第六十一條 係員ノ分擔事務、擔任部署、勤務順位及警備順路ハ係長之ヲ定ム

## 第二編 防火班

### 第一章 總 則

第六十二條 防火班ノ勤務ハ防空實施計畫ニ定ムルモノノ外本細則ノ定ムル所ニ依ル

第六十三條 防火班ハ之ヲ左ノ二係ニ分チ夫々係長ヲ置ク

一、防火係

二、機具係

第六十四條 警戒警報發セラレタルトキ又ハ班長ノ指示アリタルトキハ係長ハ直ニ係ノ勤務ニ必要ナル消火用具其ノ他ノ資材ノ受領ノ手續キヲ爲シ之ヲ係員及各階必要ナル箇所ニ配備スベシ  
係長ハ前項ノ資材保管ノ責ニ任ズ  
保管資材ノ返還ニ付テハ班長ノ指示スル所ニ依ル

第六十五條 防火用具ハ概ネ左ノ如シ

一、防火係

イ、刺 子

ロ、防煙具

ハ、網

ニ、斧

ホ、手 旗

ヘ、警 笛

ト、梯 子

チ、嵩 口

リ、十字鋏



ヌ、斧金挺

ル、其他必要ト認ムルモノ

二、機具係

イ、消火器

ロ、輕便ポンプ

ハ、移動貯水槽

ニ、ツツク製水囊

ホ、豫備ホース

ヘ、繩梯子

ト、防火用砂

チ、圓 匙

リ、ポンプ用ガソリン發動機

ヌ、其他必要ト認ムルモノ

班員夜間行動スルトキハ非常用懐中電燈ヲ携帯スベシ

班員毒瓦斯下ニ於テ行動スルトキハ防毒面及防毒服ヲ装着スベシ

第六十六條 係長ハ消防用具ヲ有效ニ保持スルヨウ心掛クベシ

班員ハ前項ノ用具ヲ常ニ點檢シ故障又ハ不足アルトキハ直ニ之ヲ係長ニ報告スベシ

第六十七條 係長ハ係ノ任務ニ關シ其ノ責ニ任ズ

係長ハ係ノ勤務ニ關シ勤務日誌ヲ作成スベシ

係長ハ重要事項ヲ常ニ班長ニ報告スベシ

第六十八條 班員ハ班長ノ指示アリタルトキハ他ノ勤務ヲ援助スベシ

第六十九條 班員ノ夜間勤務ニ付テハ係長之ヲ定ム

第七十條 班員毒瓦斯下ニ於テ行動シタル後ハ除毒室ニ於テ完全ナル消毒ヲ行フベシ

第七十一條 班員ハ常ニ其ノ勤務ニ屬スル事項ニ付調査研究ヲ怠ラス且之ニ習熟スルヨウ心掛クベシ

### 第二章 防 火

第七十二條 防火係ハ係長ノ外班員概ネ二十四名ヲ以テ組織ス

班員ハ之ヲ消火栓、消火器及輕便ポンプノ各擔當員ニ區分スベシ

第七十三條 消火栓ハ一箇五名ノ擔當トシ四名ハ防火ノ作業ニ一名ハ之ガ補助及連絡ニ當ルモノトス

消火器及輕便ポンプハ一個一名ノ擔當トス

第七十四條 各消火栓、消火器及輕便ポンプノ擔當員ハ係長之ヲ定ム

班員ハ其ノ擔當ニ屬セザル場合ニ於テモ係長ノ指示アリタルトキハ他ノ擔當員ヲ援助スベシ

第七十五條 火災ヲ發見シタルトキ又ハ之ガ通報ヲ受ケタルトキハ發火箇所ニ最モ近接スル消火栓、消火器及輕便ポンプ擔當員ハ現場ニ至リ火災報知機ニ依リ之ヲ消防署ニ通報スルト共ニ直ニ防火ノ作業ヲ開始スベシ

第七十六條 警備班以外ノ者ヨリ火災發生ノ通報ヲ受ケタルトキハ班員ハ直ニ之ヲ警備班ニ通報スベシ

第七十七條 左ノ各室ニ於ケル火災ニ付テハ班員ハ當該室勤務職員ノ指示ニ依リ消火ノ補助ヲ爲スベシ



- 一、變電室
- 二、電話室
- 三、電信室
- 四、電池室
- 五、ポンプ室
- 六、表支關巡視詰所
- 七、醫療室

第七十八條 左ノ各室ニハ防火ノ作業ニ際シ注水スベカラザルモノトス但シ瓦斯消火器其ノ他ニ依ル消火不能ト認メタルトキハ班長ノ指揮ヲ請フベシ

- 一、昇降機用機械室
- 二、消毒室
- 三、寫眞室
- 四、フィルム檢閲室

第七十九條

班員ハ防火ノ作業ニ際シ前二項ニ掲グル室ノ外注水無用ノ標示アル物件ニ注意スベシ

第八十條

消防署員到着シタルトキハ班員ハ防火ノ作業ヲ中止シ書類物件ノ搬出ヲ援助スベシ

第八十一條

係員火勢猛烈ニシテ防火不能ト認メタルトキハ残留者無キコトヲ確認シタル後現場ヲ去リ防火扉ヲ閉鎖スベシ

### 第三章 機 具

第八十二條

機具係ハ係長ノ外係員概ネ六名ヲ以テ組織ス

第八十三條

係長ハ常ニ第七十七條及第七十八條ニ掲グル各室及左ノ箇所ニ設備セラレタル消火用具ヲ點檢シ故障又ハ不足アルトキハ之ヲ當該室勤務職員又ハ責任者ニ報告スベシ

- 一、自動車車庫
- 二、火藥分析室
- 三、フィルム貯庫
- 四、湯沸場

第八十四條

警備班ヨリ電源故障ノ通報ヲ受ケタルトキハ班員ハ直ニポンプ室ニ至リテポンプヲガソリン發動機ニ連結スベシ

第八十五條

警備班ヨリ水道斷水ノ通報ヲ受ケタルトキハ班員ハ直ニ水源ヲ鑿井ニ求ムベシ

### 第四章 燒 夷 彈 防 禦

第八十六條

防火班ハ燒夷彈ノ種類、性能及效力ヲ研究シ適切ナル防禦方法ヲ講スベシ

第八十七條

燒夷彈ノ種類及爆發狀況概ネ左ノ如シ

投下彈種類

爆 發 狀 況

エレクトロン燒夷彈

發火ト同時ニ火沫ヲ飛散シ白輝光ヲ出シテ高溫度ニテ燃燒ス

司法省防空執務細則



黄燐燒夷彈  
油脂燒夷彈

六ナル爆音ト共ニ發火シ多量ノ白煙ヲ出シ火沫ヲ廣ク飛散セシメ多數ノ火點ヲ生ゼシム  
發火ト同時ニ多量ノ黑煙ト赤色煙ヲ出シ燃燒油脂ノ流動ニ依リ火點擴大シ或ハ燃燒物飛  
散シ多數ノ火點ヲ生セム

第八十八條 燒夷彈ハ落下ト同時ニ發火爆發シ忽チ火勢猛烈トナルヲ以テ直ニ屋外ニ搬出スルコトヲ得ス但「エレク  
トロン」燒夷彈ノ火力ノ衰ヘタルモノ或ハ黄燐燒夷彈、油脂燒夷彈ノ飛散セルモノノ如キハ之ヲ撤去シ得ヘキコト  
アリ

第八十九條 燒夷彈落下シタルトキハ燒夷彈落下ト報知スルト同時ニ直ニ防火作業ニ従事スヘシ

第九十條 燒夷彈ニ依ル火災ノ防禦ハ迅速ニ周圍ノ可燃物ニ多量ノ注水ヲ爲スト共ニ狀況ニ依リ濡漶類砂又ハ土等ヲ  
直接燒夷彈ニカケ其上ニ注水シ火焰ヲ抑制シ延燒防止ニ努ムヘシ

第九十一條 燒夷彈ノ飛沫ハ被服類ニハ點火スル虞少ナキヲ以テ成ルヘク近接敢然之カ防火ニ努ムベシ

第九十二條 黄燐ハ空氣中ニ於テ自然發火スル性質ヲ有スルヲ以テ柱襖等ニ附着シタルトキハ速ニ之ヲ除去シ又一日  
ハ消火シタル後ト雖モ之ヲ屋外ニ搬出シ安全ナル場所ニ於テ燃燒セシムヘシ

第九十三條 黄燐ハ皮膚ヲ侵スヲ以テ決シテ素手、素足ニテ之ニ觸ルベカラス皮膚ニ附着セル場合ハ重曹水(五%)  
若硫酸銅(飽和溶液)ニテ拭掃除去シ爾後上記藥液等ニテ滌法シ一般火傷ノ手當ヲ爲スベシ

第九十四條 防火班ハ燒夷彈ト共ニ爆彈、毒瓦斯彈ヲ併合シテ投下スル場合ヲ慮リ炸裂破片、爆風又ハ毒瓦斯ニ關ス  
ル防護ニ付テモ對策ヲ研究シ置クベシ

### 第三編 防毒班

#### 第一章 總 則

第九十五條 防毒班員ノ勤務ハ防空實施計畫ニ定ムルモノノ外本細則ノ定ムル所ニ依ル

第九十六條 防毒班ハ之ヲ左ノ二係ニ分チ夫々係長ヲ置ク

- 一 檢知係
- 二 消毒係

第九十七條 警戒警報發セラレタルトキ又ハ班長ノ指示アリタルトキハ係長ハ直ニ係ノ勤務ニ必要ナル防毒用具其他  
ノ資材ノ受領ヲ手續ヲ爲シ之ヲ係員及勤務場所ニ配置スベシ  
係長ハ前項ノ資材保管ノ責ニ任ズ

保管物品ノ返還ニ付テハ班長ノ指示スル所ニ依ル

第九十八條 防毒用具ハ概ネ左ノ如シ

- 一 檢知係
  - イ、檢知器
  - ロ、イペリット檢知劑
  - ハ、ホスゲン檢知劑
  - ニ、二酸化炭素檢知劑
- 二 消毒係
  - ホ、ルイサイト檢知劑
  - ヘ、瓦斯試臭器
  - ト、防毒面及ニ毒衣
  - チ、瓦斯標本

司法省防空執務細則



リ、防毒面検査器

ヌ、警報器

二、消毒係

イ、消毒藥撒布器

ホ、網

ロ、晒器

ヘ、護謨ホース

ハ、風旗

ト、木製支柱

ニ、標示用旗

チ、消毒劑

係員夜間行動スルトキハ非常用懐中電燈ヲ携帶スベシ

係員瓦斯下ニ於テ行動スルトキハ防毒面防毒服及防毒手袋防毒靴ヲ装着スベシ

第九十九條 係長ハ防毒用具ヲ有效ニ保持スル様心掛クベシ

係員ハ前項ノ用具ヲ常ニ點檢シ故障又ハ不足アルトキハ直ニ之ヲ係長ニ報告スベシ

第一百條 係長ハ係ノ任務ニ關シ其ノ責ニ任ズ

係長ハ係ノ勤務ニ關シ勤務日誌ヲ作成スベシ

係長ハ重要事項ヲ常ニ班長ニ報告スベシ

第一百一條 係員ハ班長ノ指示アリタルトキハ他ノ係ノ勤務ヲ援助スベシ

第一百二條 係員ノ夜間勤務ニ付テハ係長之ヲ定ム

第一百三條 宿直員夜間等ニ於テ防毒班ノ編成ニ違ナキトキハ速ニ附近ノ防護團ノ協力ヲ受ケ適當ニ處置スベシ

第一百四條 係員毒瓦斯下ニ於テ行動シタル後ハ除毒室ニ於テ完全ナル消毒ヲ行フベシ

第一百五條 係員ハ常ニ其ノ勤務ニ屬スル事項ニ付調査研究ヲ怠ラズ且之ヲ習熟スル様心掛クベシ

第二章 檢知

第一百六條 檢知係ハ係長ノ外係員概ネ六名ヲ以テ組織ス

第一百七條 瓦斯彈ノ投下又ハ毒瓦斯ノ來襲ノ通報ヲ受ケタルトキハ係員ハ直ニ現場ニ至リ毒瓦斯ノ有無、其ノ種類及

流動ノ方向ヲ檢知シ之ヲ係長ニ報告スルト共ニ警備班及救護班ニ通報スベシ

第一百八條 被毒箇所ハ之ヲ標示シテ立入ヲ禁止シ又交通ヲ遮斷スベシ

第一百九條 被毒箇所ハ赤旗又ハ掲示板ヲ備ヘタル標識ニ網ヲ併用シテ之ヲ標示シ夜間ハ遮光裝置ヲ爲シタル標識燈ヲ

以テ之ヲ標示スベシ

第一百十條 係員ハ瓦斯ノ落下箇所及避難通路ヲ定メテ之ヲ係長ニ報告スベシ

避難通路被毒箇所ヲ通過スルトキハ係長ハ此ノ旨ヲ防護室及救護班ニ通報スベシ

第三章 消毒

第一百一十一條 消毒係ハ係長ノ外係員概ネ十二名ヲ以テ組織ス

第一百一十二條 瓦斯彈ノ投下又ハ毒瓦斯ノ來襲ノ通報ヲ受ケタルトキハ係員ハ直ニ現場ニ至リテ汚毒シタル人ノ消毒ヲ

行ヒ救護班ト協力シテ之ヲ收容シ汚毒シタル土地、建物等ニ對シテモ速ニ消毒ノ作業ヲ開始スベシ

第一百一十三條 瓦斯彈ノ投下アリ危険ナルトキハ廳員ハ速ニ防毒面又ハ手拭其他木綿布ヲ濡シ(藥品ヘキサイトチルテ

ラモン水一〇%ヲ用ヒルハ效果アリ)鼻口ニ當テ毒瓦斯ノ風上ヲ經テ一時避難スベシ

第一百四十四條 毒瓦斯全ク發散シ又ハ消毒作業終了シ危険ナキニ至リタルトキハ之ヲ係長ニ報告スルト共ニ警備班其他



### 第四編 防護班

#### 第一章 總 則

第一百五條 防毒班員ノ勤務ハ防空實施計畫ニ定ムルモノノ外本細則ノ定ムル所ニ依ル  
第一百六條 防護班ハ之ヲ左ノ二係ニ分チ夫々係長ヲ置ク

- 一、管理 係
- 二、誘導 係

第一百七條 防護班長ハ防護室設置ニ付左記事項ニ注意シ適切ノ方法ヲ講ズヘシ

- 一、要避難者ノ數
- 二、防護室ノ位置及收容能力
- 三、防護室ノ割當
- 四、防護室ニ至ル道路及豫備線路
- 五、防護室ノ誘導及收容ノ方法
- 六、防護室管理誘導ニ必要ナル班員ノ配置

第一百八條 警戒警報發セラレタルトキ又ハ班長ノ指示アリタルトキハ係長ハ直ニ係ノ勤務ニ必要ナル防空用具其ノ

他ノ資材ノ受領ノ手續ヲ爲シ之ヲ係員及防護室ニ配備スベシ

係長ハ前項ノ資材保管ノ責ニ任ズ

保管資材ノ返還ニ付テハ班長ノ指示スル所ニ依ル

第一百九條 防護室用具ハ概ネ左ノ如シ

- 一、管理 係
  - イ、空氣濾過器
  - ロ、防毒幕
  - ハ、晒粉
  - ニ、パテ
  - ホ、目張用テープ
  - ヘ、空瓶
  - ト、非常用懐中電燈
  - 二、誘導 係
    - イ、手旗
    - ロ、非常用誘導燈
- チ、防護室標識
  - リ、飲料水
  - ヌ、置便器
  - ル、椅子
  - ヲ、食料品
  - ワ、救急箱
- ハ、標識

係員毒瓦斯下ニ於テ行動スルトキハ防毒面及防毒服防毒手袋防毒靴ヲ装着スベシ  
第二十條 係長ハ防護室用具ヲ有效ニ保持スル様心掛クベシ

係員ハ前項ノ用具ヲ常ニ點檢シ故障又ハ不足アルトキハ直ニ之ヲ係長ニ報告スベシ



第二百一十一條 係長ハ係ノ任務ニ關シ其ノ責ニ任ズ

係長ハ係ノ勤務ニ關シ勤務日誌ヲ作成スベシ

係長ハ重要事項ヲ常ニ班長ニ報告スベシ

第二百一十二條 係員ハ班長ノ指示アリタルトキハ他ノ係ノ勤務ヲ援助スベシ

第二百一十三條 係員ノ夜間勤務ニ付テハ係長之ヲ定ム

第二百一十四條 係員毒瓦斯下ニ於テ行動シタル後ハ除毒室ニ於テ完全ナル消毒ヲ行フベシ

第二百一十五條 係員ハ常ニ其ノ勤務ニ屬スル事項ニ付調査研究ヲ怠ラズ且之ニ習熟スル様心掛クベシ

### 第二章 管 理

第二百一十六條 管理係ハ係長ノ外概ネ十二名ヲ以テ組織ス

第二百一十七條 防護室ハ之ヲ廳員防護室ト公衆防護室トニ區分スベシ

第二百一十八條 各防護室ノ擔當員ハ係長之ヲ定ム

第二百一十九條 係員ハ常ニ防護室ヲ點檢シ之ヲ氣密ニ保持スル様心掛クベシ

第二百二十條 避難命令アリタルトキハ係員ハ直ニ其ノ部署ニ就キ應急處置ヲ爲スベシ

第二百二十一條 避難者ノ數ガ割當人員ニ達シタルトキハ係員ハ直ニ防護室ヲ閉鎖スベシ

防護室ヲ閉鎖シタル後ニ於テハ濫リニ防護室ニ出入セシムルコトヲ得ズ

第二百二十二條 毒瓦斯ノ滯留中ニ於テハ防護室ノ出入ニ際シ前後ノ防毒幕ヲ同時ニ閉閉スベカラザルモノトス

第二百二十三條 防護室前室ニ毒瓦斯漏入シタルトキハ係員ハ直ニ空氣濾過器ヲ運轉シ防護室内ノ氣壓ヲ高メテ之ガ排

出ニ努ムベシ

第二百三十四條 避難者毒瓦斯ノ被毒箇所ヲ通過シ來リタルモノナルトキハ係員ハ防毒班ヨリノ通報ニ基キ防護室ノ入

口ニ於テ汚毒シタル衣服靴等ヲ消毒セシムベシ但シ汚毒ノ程度著シキトキハ之ヲ他物ニ觸レシメザル様注意シ除毒

室ニ送致スベシ

前項ノ場合ニ於テ避難者ノ中毒症狀アルトキハ係員ハ其ノ旨ヲ救護班ニ通報シ運搬ヲ請フベシ

第二百三十五條 避難者ニ負傷アルトキハ係員ハ其ノ旨ヲ救護班ニ通報シ運搬ヲ請フベシ但シ輕傷者ハ直ニ之ヲ醫療室

ニ送致スベシ

第二百三十六條 防護室内ニ於テ發病シタル者アルトキハ係員ハ救護班ニ通報シ應急ノ處置ヲ講ズベシ但シ毒瓦斯中毒

者又ハ重症患者ニ付テハ其ノ旨ヲ通報シ運搬ヲ請フベシ

第二百三十七條 係員ハ特ニ言動ヲ慎ミ避難者ニ不安焦燥ノ念ヲ起サシメサル様注意スベシ

第二百三十八條 避難者ハ他ノ妨害トナルハキ物品ヲ携帯スヘカラス但少量ノ食糧品ハ此ノ限ニアラス

第二百三十九條 空襲警報ノ解除アリタルトキハ係員ハ直ニ防護室ヲ開放スベシ

第二百四十條 警戒警報發セラレタルトキハ公衆防護室擔當員ハ直ニ當該通用門ニ其ノ旨ヲ標示シ夜間ハ標識燈ヲ以テ

之ヲ標示スベシ

第二百四十一條 公衆防護室擔當員ハ避難者名簿ヲ作成シ避難者ノ住居氏名及行先ヲ記入スベシ

第二百四十二條 公衆防護室ニ餘裕アル間ハ當該擔當員ハ表街路ニ注意シ避難者ノ收容ニ努ムベシ

### 第三章 誘 導



- 第四百三十三條 防護班長ハ防護室ノ割當及避難順路等豫メ之ヲ定メ各部局責任者ニ通報スベシ
- 第四百四十四條 避難命令アリタルトキハ係員ハ直ニ手旗又ハ非常用懐中電燈ニ依リ應員ヲ所定ノ防護室ニ誘導スベシ
- 第四百四十五條 所定ノ避難順路破壊サレタルトキ又ハ毒瓦斯ニ覆ハレタルトキハ係員ハ警備班又ハ防毒班ヨリノ通報ニ基キ安全ナル通路ニ依リ應員ヲ誘導スベシ

### 第五編 救護班

- 第四百四十六條 救護班員ノ勤務ハ防空實施計畫ニ定ムルモノノ外本細則ノ定ムル所ニ依ル
- 第四百四十七條 救護班ハ之ヲ左ノ三係ニ分チ夫々係長ヲ置ク
  - 一、收容係
  - 二、除毒係
  - 三、醫療係

- 第四百四十八條 警戒警報發セラレタルトキ又ハ班長ノ指示アルタルトキハ係長ハ直ニ係ノ勤務ニ必要ナル救急用具其ノ他ノ資材ノ受領ノ手續ヲ爲シ之ヲ係員及勤務場所ニ配備集合スベシ
- 係長ハ前項ノ資材保管ノ責ニ任ズ
- 保管資材ノ返還ニ付テハ班長ノ指示スル所ニ依ル
- 第四百四十九條 救護用具及藥品ハ概ネ左ノ如シ

- 一、收容係
  - イ、擔架及運搬車
  - ロ、患者用防毒具
  - ハ、除毒包
  - ニ、繃帶及滅菌ガーゼ
  - ホ、止血帶
- 二、除毒係
  - イ、衣服
  - ロ、衣服消毒釜
  - ハ、寢臺
  - ニ、溫室灌注裝置
  - ホ、イペリツト除毒用酸化劑
  - ヘ、ルイサイト除毒用苛性曹達液
  - ト、眼洗液及洗滌裝置
  - チ、ガーゼ及綿花
  - リ、汚物入容器
  - ヌ、其他必要ト認ムルモノ
- 三、醫療係



(一) 救急内科醫療用具及一般醫療用雜具

- イ、診斷用具
  - ロ、注射用具
  - ハ、輸血用具
  - ニ、酸素吸入用具
  - ホ、保温用具
  - ヘ、調劑用具
  - ト、寢臺、椅子、卓子ノ類
  - チ、其他必要ト認ムルモノ
- (二) 救急外科醫療用具
- イ、刀 類
  - ロ、鋏 類
  - ハ、ピンセット、鉤ノ類
  - ニ、鉗子類
  - ホ、カテーテル類
  - ヘ、副木類
  - ト、縫合用具
  - チ、止血用具

リ、消毒用具

ヌ、油紙、繻帶ノ類

ル、刷毛類

ヲ、汚物入容器

ワ、小手術臺

カ、其他必要ト認ムルモノ

(三) 救急眼科及耳鼻咽喉科用具

イ、點眼用具

ロ、洗眼用具

ハ、耳 鏡

ニ、鼻 鏡

ホ、綿 棒

ヘ、捲綿子

ト、眼 帶

チ、其他必要ト認ムルモノ

(四) 藥 品

イ、毒瓦斯除毒劑

ロ、沈靜劑

ハ、催眠劑



ニ、沈痛劑

ホ、局所麻醉劑

ヘ、強心劑

ト、呼吸中樞刺戟劑

チ、肺水腫用特種注射劑

リ、肺二次感染防止劑

ヌ、各種軟膏及泥膏類

ル、創傷消毒劑

ヲ、點眼劑

ワ、吸入劑

カ、嗅劑

ヨ、含嗽劑

タ、卷法劑

レ、其他必要ト認ムルモノ

係員夜間行動スルトキハ非常用懐中電燈ヲ携帯スベシ

係員毒瓦斯下ニ於テ行動スルトキハ防毒面及防毒服ヲ装着スベシ

第一百五十條 係長ハ救護用具及藥品ヲ有效ニ保持スル様心掛クベシ

係員ハ前項ノ用具ヲ常ニ點檢シ故障又ハ不足アルトキハ直ニ之ヲ係長ニ報告スベシ

第一百五十一條 係長ハ係ノ任務ニ關シ其ノ責ニ任ズ

係長ハ係ノ勤務ニ關シ勤務日誌ヲ作成スベシ

係長ハ重要事項ヲ常ニ班長ニ報告スベシ

第一百五十二條 係員ハ班長ノ指示アリタルトキハ他ノ係ノ勤務ヲ援助スベシ

第一百五十三條 係員ノ夜間勤務ニ付テハ係長之ヲ定ム

第一百五十四條 係員毒瓦斯下ニ於テ行動シタル後ハ除毒室ニ於テ完全ナル消毒ヲ行フベシ

第一百五十五條 係員ハ常ニ其ノ勤務ニ屬スル事項ニ付調査研究ヲ怠ラズ且之ニ習熟スル様心掛クベシ

### 第一章 收容係

第一百五十六條 收容係ハ係長ノ外係員概ネ十八名ヲ以テ組織ス

第一百五十七條 擔架ハ一個二名ノ擔當トス但シ毒瓦斯下ニ於テハ補助員一名ヲ加ヘ一個三名ノ擔當トス

第一百五十八條 負傷者、發病者又ハ毒瓦斯中毒者アリタル通報ヲ受ケタルトキハ係員ハ直ニ應急衛生材料及運搬用具ヲ携ヘテ現場ニ至リ必要ニ依リ應急ノ處置ヲ講ジタル後之ヲ醫療室又ハ除毒室ニ運搬又ハ送致スベシ

前項ノ場合ニ於テ毒瓦斯中毒者ニ對シテハ狀況ニ依リ患者用防毒具ヲ携行スベシ

第一百五十九條 患者ノ收容特ニ毒瓦斯中毒者ノ收容ハ安靜迅速ヲ旨トスルモノトス

第一百六十條 係員ハ運搬用具ニ毒劑ヲ觸レシメザル様注意シ必要ニ依リ患者ノ衣服等ニ對シ應急ノ處置ヲ講ズベシ

第一百六十一條 係員ハ狀況ニ依リ班長ノ命ヲ受ケ患者ヲ所定ノ病院ニ運搬スベシ

第一百六十二條 各擔架ノ擔當員及勤務順位ハ係長之ヲ定ム

### 第二章 除毒



第六十三條 除毒係ハ係長ノ外係員概ネ十名ヲ以テ組織ス

第六十四條 除毒室ハ左ノ如ク之ヲ區分ス

一、脱衣場

二、衣服消毒場

三、除毒洗身場

四、着衣場

五、休憩場

第六十五條 係員ハ常ニ除毒室内ノ各場ヲ點檢シ之ヲ氣密ニ保持スル様心掛クベシ

第六十六條 係員毒瓦斯中毒者ノ搬入ヲ受ケタルトキハ防毒班ヨリノ通報ニ基キ毒瓦斯ノ種類及症狀ニ應ジ直ニ又ハ適當ナル除毒若ハ消毒ヲ施シタル後之ヲ醫療室ニ送致スベシ

第六十七條 係員ハ衣服、靴等ノ除毒ノ爲來室シタル者及各班員ニシテ作業終了後消毒ノ爲來室シタル者ニ對シテハ其ノ除毒又ハ消毒ヲ援助スベシ

第六十八條 汚毒著シク消毒困難ナル物品及除毒ニ使用シタル布片等ハ之ヲ衣服消毒場内ニ設置シタル氣密函ニ投入セシメタル後係長ノ指示スル所ニ依リ消毒、燒却、埋沒等ノ處置ヲ講ズルモノトス

第六十九條 除毒室ニ於ケル係員ノ擔任部署ハ係長之ヲ定ム

### 第三章 醫療

第七十條 醫療係ハ係長ノ外係員概ネ六名ヲ以テ組織ス

第七十一條 醫療室ハ左ノ如ク之ヲ區分ス

一、處置場

二、患者收容場

三、休憩場

七十二條 係員患者ノ搬入ヲ受ケタルトキハ之ニ適當ナル醫療ヲ加ヘ必要ニ應ジ患者收容室ニ收容シ又ハ所定ノ病院ニ運搬ノ手續ヲ爲スベシ

第七十三條 患者ニ對スル醫療ノ方法其ノ處置等ハ係長之ヲ定ム

## 第六編 工作班

### 第一章 總則

第七十四條 工作班員ノ勤務ハ防空實施計畫ニ定ムルモノノ外本細則ノ定ムル所ニ依ル

第七十五條 工作班ハ之ヲ左ノ三係ニ分チ夫々係長ヲ置ク

一、建築係

二、電氣機械係

三、水道瓦斯係

第七十六條 警戒警報發セラレタルトキ又ハ班長ノ指示アリタルトキハ係長ハ直ニ係ノ勤務ニ必要ナル工作用具其



他ノ資材ノ受領ノ手續ヲ爲シ之ヲ係員及必要ナル箇所ニ配備スベシ  
係長ハ前項ノ資材保管ノ責ニ任ズ

保管資材ノ返還ニ付テハ班長ノ指示スル所ニ依ル

第七十七條

工作用具ハ概ネ左ノ如シ

一、建築係

イ、工作及修繕用器具

ロ、防火用具

ハ、破壊用器具

ニ、圓 匙

ホ、十字 鋏

ヘ、斧

ト、螺子廻シ

チ、土 囊

リ、防水天幕

ヌ、工作修理用資材

二、電氣機械係

イ、電話護謨線

ロ、強電用電線

ハ、豫備電信電話送受器

ニ、修繕用器具及材料

三、水道瓦斯係

イ、修理用器具

ロ、防火用砂

係員夜間行動スルトキハ非常用懐中電燈ヲ携帯スベシ

係員毒瓦斯下ニ於テ行動スルトキハ防毒面及防毒服其他ヲ装着スベシ

第七十八條

工作班長ハ廳舎ノ平面圖ニ依リ建物、通路其他電燈、電話、電鈴、瓦斯、水道、消火栓等ノ位置ヲ圖示シ一般ニ之ヲ周知セシムベシ

第七十九條

係長ハ工作用具ヲ有效ニ保持スルヨウ心掛クベシ

第八十條

係員ハ前項ノ用具ヲ常ニ點檢シ故障又ハ不足アルトキハ直ニ之ヲ係長ニ報告スベシ  
係長ハ係ノ勤務ニ關シ勤務日誌ヲ作成スベシ

第八十一條

係長ハ重要事項ヲ常ニ班長ニ報告スベシ

第八十二條

各員ハ密接ナル連繫ヲ保テ相互ニ作業ニ協力スベシ  
係員ハ班長ノ指示アリタルトキハ他ノ係ノ勤務ヲ援助スベシ

第八十三條

係員ハ作業ニ際シ一般ノ危害豫防ニ付特ニ注意スベシ

第八十四條

係員ノ夜間勤務ニ付テハ係長之ヲ定ム



第百八十五條 係員毒瓦斯下ニ於テ行動シタル後ハ除毒室ニ於テ完全ナル消毒ヲ行フベシ  
 第百八十六條 係員ハ常ニ其ノ勤務ニ屬スル事項ニ付調査研究ヲ怠ラズ且之ニ習熟スルヨウ心掛クベシ

### 第二章 建築

第百八十七條 建築係ハ係長ノ外係員概ネ十名ヲ以テ組織ス  
 第百八十八條 係長ハ廳舎（構内ヲ含ム以下同ジ）ノ諸設備ヲ詳細ニ記入シタル建築平面圖ヲ調製シ之ガ破壊ニ依ル  
 應急修理ノ方法ニ付豫メ考究シ置クベシ  
 第百八十九條 係員ハ班長ヨリ指示アリタルトキハ水槽、昇降機用機械室、階段室及電信電話室ノ直上屋版、ガソリン  
 貯庫、空壕、防護室外周其他豫メ班長ノ指定スル箇所ニ土囊ヲ以テ所定ノ補強防護工事ヲ施スベシ  
 第百九十條 廳舎又ハ設備破壊セラレタルトキハ係長ハ直ニ破壊箇所ヲ調査シ應急修理ノ方法並之ニ要スル補修材料  
 ノ種類及數量ヲ班長ニ報告スベシ  
 第百九十一條 破壊セラレタル建物及器物ノ破片ハ通行及應急修理ニ支障ナキヨウ適當ナル箇所ニ整理スベキモノト  
 ス  
 第百九十二條 破壊箇所ガ發火又ハ被毒ノ箇所ナルトキハ係員ハ消防班又ハ防毒班ニ依リ完全ニ消火又ハ消毒セラレ  
 タル後修理ヲ開始スベシ  
 第百九十三條 應急修理完了シタルトキハ係員ハ之ヲ係長ニ報告スベシ  
 第百九十四條 投下彈不發ニ終リタルトキハ係員ハ其ノ儘之ヲ靜置シ繩張其他適當ナル方法ニ依リ附近ノ通行ヲ遮斷  
 シタル後之カ處置ニ付班長ノ指揮ヲ請フベシ

469734

### 第三章 電氣機械修理

第百九十五條 電氣機械係ハ係長ノ外係員概ネ十名ヲ以テ組織ス  
 第百九十六條 係長ハ廳舎ノ強電及弱電ニ關スル照明、動力、通信等ノ諸施設ノ配電線及機械ヲ詳細ニ記入シタル配  
 置圖ヲ各施設ノ系統毎ニ調製シ之カ破壊ニ依ル應急修理ノ方法ニ付豫メ考究シ置クベシ  
 第百九十七條 電氣施設破壊セラレタル場合ニ於テ係長必要アリト認メタルトキハ其ノ旨ヲ電燈會社ニ通報スベシ  
 第百九十八條 ポンプ室電源破壊セラレ又ハ故障ヲ生ジタルトキハ係員ハ其ノ旨ヲ直ニ消防班ニ通報スベシ  
 第百九十九條 電線路破壊セラレタルトキハ係員ハ其ノ旨ヲ直ニ警備班ニ通報スベシ  
 第二百條 班長ノ指示アリタルトキハ係員ハ直ニ地下ケーブル線ニ豫備電信電話送受器ヲ連結スベシ  
 第二百一條 電氣機械係員ノ勤務ニ付テハ本章ニ定ムルモノノ外建築係員ニ關スル勤務條項ヲ準用ス

### 第四章 水道瓦斯修理

第二百二條 水道瓦斯係ハ係長ノ外係員概ネ八名ヲ以テ組織ス  
 第二百三條 係長ハ廳舎ノ水道、瓦斯及暖房ニ關スル諸設備並配管及バルブヲ詳細ニ記入シタル配置圖ヲ調製シ之ガ  
 破壊ニ依ル應急修理ノ方法ニ付豫メ考究シ置クベシ  
 第二百四條 水道及瓦斯ニ關スル設備破壊セラレタル場合ニ於テ係長必要アリト認メタルトキハ其ノ旨ヲ水道局又ハ  
 瓦斯會社ニ通報スベシ  
 第二百五條 水道管、瓦斯管及暖房管ニ故障ヲ生ジタルトキハ係員ハ最寄支管ノバルブヲ締切り尙必要アリト認メタ  
 司法省防空執務細則



ルトキハ關係幹線バルブヲ縮切ルベシ

前項ノ場合ニ於テ水道斷水トナルトキハ其ノ旨ヲ直ニ消防班ニ通報スベシ

第二百六條 瓦斯管破壊シ瓦斯ヲ噴出スルトキハ係員ハ火氣ニ注意スルト共ニ防毒面ヲ装着シ修理ニ従事スベシ  
前項ノ場合ニ於テ瓦斯ニ引火シタルトキハ其ノ旨ヲ直ニ消防班ニ通報スベシ

第二百七條 水槽及水道管破壊セラレタルトキハ係員ハ應急防水ノ處置ヲ講ズベシ

第二百八條 幹線暖房管破壊セラレタルトキハ係員ハ直ニ暖房停止ノ處置ヲ講ズベシ

第二百九條 水道瓦斯係員ノ勤務ニ付テハ本章ニ定ムルモノノ外建築係員ニ關スル勤務條項ヲ準用ス

### 第七編 配給班

#### 第一章 總 則

第二百十條 配給班員ノ勤務ハ防空實施計畫ニ定ムルモノノ外本細則ノ定ムル所ニ依ル

第二百十一條 配給班ハ之ヲ左ノ二係ニ分チ夫々係長ヲ置ク

一、配給係

二、調度係

第二百十二條 配給班ノ用具概ネ左ノ如シ

一、自動車

二、トラツク

三、リヤーカー

四、荷 車

五、運搬用具

六、非・常 袋

七、風 呂 敷

八、懐中電燈

九、繩

第二百十三條 班長ハ平素防空資材ノ充實ニ努メ各資材ノ種類員數ヲ調査スルト共ニ不足資材ニ對シテハ何時ニテモ調達シ得ル様豫メ之カ準備ヲ爲スベシ

第二百十四條 係長ハ係ノ任務ニ關シ其ノ責ニ任ズ

係長ハ係ノ勤務ニ關シ勤務日誌ヲ作成スベシ

係長ハ重要事項ヲ常ニ班長ニ報告スベシ

第二百十五條 係員夜間行動スルトキハ非常用懐中電燈ヲ携帯スベシ

係員毒瓦斯下ニ於テ行動スルトキハ防毒面及防毒服其他ヲ装着スベシ

第二百十六條 係員ハ班長ノ指示アリタルトキハ他ノ係ノ勤務ヲ援助スベシ

第二百十七條 係員ノ夜間勤務ニ付テハ係長之ヲ定ム

第二百十八條 係員毒瓦斯下ニ於テ行動シタル後ハ除毒室ニ於テ完全ナル消毒ヲ行フベシ



第二百十九條 係員ハ常ニ其ノ勤務ニ屬スル事項ニ付調査研究ヲ怠ラズ且之ニ習熟スルヨウ心掛クベシ

### 第二章 配 給

第二百二十條 配給係ハ係長ノ外係員概ネ四名ヲ以テ組織ス

第二百二十一條 係長ハ防空資材ヲ總括保管スベシ

第二百二十二條 係員ハ防空資材現在高一覽表ヲ作成シ資材ノ増減ヲ明瞭ナラシムベシ

第二百二十三條 防空資材ハ共用物ヲ除キ各班ノ需要別ニ之ヲ整理スベシ

第二百二十四條 係員ハ常ニ防空資材現在高一覽表ニ依リ其ノ格納場所ヲ點檢シ資材ノ種類、員數等ヲ調査スルト共ニ變質腐敗ノ虞アル資材ニ付テハ特ニ之ヲ注意スベシ

第二百二十五條 係員防空資材ノ効力、機能等ニ支障ヲ生ジタリト認メタルトキハ其ノ旨ヲ班長ニ報告シ班長ハ夫々他ノ班長ニ對シ之ガ檢査ヲ要求スベシ

第二百二十六條 警戒警報發セラレタルトキ又ハ各班長ノ要求アリタルトキハ係員ハ直ニ防空資材ノ配給手續ヲ了スベシ

第二百二十七條 係員防空資材ノ返還ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ修補ヲ加ヘ難キモノヲ除キ消毒、洗濯等ノ處置ヲ講ジタル後格納スベシ

第二百二十八條 係員ハ防空資材現在高一覽表補助簿ヲ作成シ資材ノ收配ヲ明瞭ナラシムベシ  
防空資材ノ配給ニ際シテハ各班長名ノ受領證ヲ徴スベシ

第二百二十九條 防空資材ノ收配、格納及點檢ハ本細則ニ定ムルモノノ外物品取扱規程及同細則ニ準據シ之ヲ行フモ

ノトス

### 第三章 調 度

第二百三十條 調度係ハ係長ノ外係員概ネ八名ヲ以テ組織ス

第二百三十一條 係員ハ常ニ相當量ノ資材食糧品ヲ保持スルヨウ心掛クベシ

第二百三十二條 係員ハ食糧品、飲料水、被服、寢具等ノ毒化ヲ防護スルヨウ心掛クベシ

第二百三十三條 係員ハ炊事場、炊具等ノ清潔ヲ維持スルト共ニ火災豫防及燈火管制ニ關シ特ニ注意スベシ





第...號  
第...號  
第...號  
第...號

法政第一課  
33.9.20  
課長法務局

法政第一課  
33.9.13  
課長法務局

33.11.1.











